

令和4年度の目標値達成状況 (KPIシート)

・ 数値目標(P)に対する客観的評価の方法	:	1	ページ
・ 令和4年度 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧	:	2	ページ
・ 農業分野	:	3 ~ 8	ページ
・ 林業分野	:	9 ~ 11	ページ
・ 水産業分野	:	12 ~ 14	ページ
・ 商業分野	:	15 ~ 19	ページ
・ 工業分野	:	20 ~ 22	ページ
・ 観光分野	:	23 ~ 31	ページ

数値目標(P)に対する客観的評価の方法

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下の4段階評価を実施。

区分	評価基準	
A		<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標を達成したもの → 達成率 100%以上 ・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成したもの
B	年度の数値目標と実績値を比べ、数値を改善、もしくは維持できたもの、又は状況を改善できたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標をほぼ達成したもの → 達成率 60%以上100%未満 ・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標をほぼ達成したもの
C		<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標の達成にむけて十分な進展が見られなかったもの → 達成率 60%未満 ・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成できなかったもの 又は、進展・改善が見られなかったもの
-		-

◆ 第2期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標』一覧

【農業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度%)	備考【数値の根拠等】
新規就農者数(人/年)	目標値	10	10	10	10	10	50		高知県中央東農業振興センターが毎年公表する新規就農者数(前年度実績)
	実績値	10	7	11			28		
	評価	A	B	A					
【林業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度%)	備考【数値の根拠等】
間伐面積(ha)	目標値	25	40	50	65	51	231		緊急間伐総合支援事業と森林管理制度間伐委託業務の合計値 ※R3年度から上方修正 R3: 30 ▷ 40 / R4: 35 ▷ 40 / 合計: 185 ▷ 200 ※R4年度から再度上方修正 R4: 40 ▷ 50 / R5: 45 ▷ 65 / R6: 50 ▷ 51 合計: 200 ▷ 231
	実績値	25.4	39.5	35.9			100.8		
	評価	A	B	B					
【水産業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度%)	備考【数値の根拠等】
沿岸漁業総生産額 (百万円/年)	目標値	285	290	295	300	305	1,475		高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額
	実績値	290	254	253			797		
	評価	A	B	B					
【商業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度%)	備考【数値の根拠等】
事業者数 (事業所/年)	目標値	813	773	768	763	758	758 (延べ)		香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF~O・Q・Rに分類される事業所数 ※R3年度から再設定 R3: 814 ▷ 773 / R4: 815 ▷ 768 / R5: 816 ▷ 763 R6: 817 ▷ 758 最終: 817 ▷ 758
	実績値	778	777	768					
	評価	-	A	A					
新規事務系企業数 (企業/年)	目標値	2	2	2	2	2	10 (累計)		香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数
	実績値	1	0	1					
	評価	C	C	C					
【工業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度%)	備考【数値の根拠等】
製造品出荷額 (億円/年)	目標値	360	380	400	420	440	2,000		工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R4年度の製造品出荷額は、公表されていないことから、評価は示していない。
	実績値	344	380	-			724		
	評価	B	A	-					
新規雇用者数 (人/年)	目標値	5	8	19	16	15	63		市内立地企業に新たに雇用された市在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在雇用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用者と仮定し、地元雇用者数の70%を見込んだもの。 ※R2.R3年度の実績に齟齬があり修正。
	実績値	20 ▷ 21	23 ▷ 29	14			50		
	評価	A	A	B					
【観光分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度%)	備考【数値の根拠等】
観光施設入込客数 (万人)	目標値	107	110	114	117	121	569		観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。 (暦年1-12月の合計) 【対象10施設】 ①県立のいち動物公園 ②月見山子どもの森 ③ヤンキーパーク ④絵金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩土佐コントリビューティブ
	実績値	90.7	96.2	102.2			289.1		
	評価	B	B	B					

数値目標	年度	基準値 (R元年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (累計)	5年間の達成(達成度合)	備考
新規就農者数 (人)	目標値	15	10	10	10	10	10	50		高知県中央東農業振興センターが毎年公表する新規就農者数（前年度実績） ※市内の耕作放棄地のうち、再生可能な耕作放棄地の年間増加面積（過去7年の平均）を香南市の産地提案型7品目の経営モデル面積の1品目（1人当たり）の平均面積で割り出し算出。
	実績値	9	10	7	11					
	達成(評価)	B	A	B	A					

■取り組みの内容について

【R4年度の総括】

依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面式の県外イベント等への参加ができない等、担い手確保に向けた取り組みは十分ではなかったが、相談件数は33件あり、親元就農やUターン等の相談を中心に比較的多かった。新規就農者の状況を把握するため振興センターやJAと連携をとり、サポート体制の充実を図っているが、ハウス資材や燃料費、肥料代等の価格高騰もあり、離農される方もいる等新規就農者や既存農家も含め農業経営上、非常に厳しい状況となっている。人・農地プランの実質化後、それぞれの地区での施策に取り組んできたが、地域計画の策定に移行していくこととなり、R4年度後半からは、R5年度以降の地域との協議の場をもつにあたっての市の体制整備を行ってきた。担い手の確保に向け、地域計画の策定に向けた地域との協議と並行し新規就農への相談対応、就農者へのサポートに取り組んでいく。

戦略の柱	取り組みの柱	年度	基準値 (R30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称 ○具体的な取組	目標値 実績値								

◆担い手確保に向けた取り組み

担い手確保に向けた取り組み	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1. 新規就農者総合対策事業 (就農準備資金) ※旧「農業次世代人材投資事業(準備型)」 R4年度より名称変更。 【補助交付人数(人)】	目標値 実績値 達成(評価) (C)	- - -	1 0 C	1 2 A	1 2 A	1 1 1	1 1 1	1 1 1	
【実施主体】 高知県 【連携する分野】 - (※当事業は就農前の支援)										次世代を担う農業者となることを志向し、就農に有効であると認める研修を実施する研修機関(農業大学校等)において農業経営育成教育研修を受ける者に対して当補助金を交付する。※高知県による直接交付事業。 R2:0名 / R3: 2名(ニラ1、ピーマン1) 【R4年度】 関係機関(市・中央東農業振興センター、JA高知県香美地区)が連携し、研修受入農家とのマッチング等のサポートを実施。 研修中から就農までの計画等について支援を図ってきたことから目標値の達成に繋がっている。 ・ニラ1名、フルーツトマト1名の計2名が研修中。 ・R4.8.20: 就農相談会(れんけいこうち)へ参加。
2. 雇用就農資金事業 ※旧「農の雇用事業」R4年度より名称変更。 【補助交付人数(人)】	目標値 実績値 達成(評価) (C)	- - -	1 0 C	1 0 C	1 0 A	1 1 1	1 1 1	1 1 1		対象事業所が少ないため、多くの事業活用は見込めないものの、JA・高知県中央東農業振興センターと連携することで、農業法人等の雇用ニーズの把握に努め、また新規就農相談の中でも雇用就農の意向があれば事業所を紹介していく。加えて、本事業の活用から独立就農に進む方に対して新規就農者総合対策(経営開始資金)で対応するように案内していく。
【実施主体】 高知県農業会議 【連携する分野】 - (※当事業は就農前の支援)										農業法人等が、新規就農者や被災農業者を雇用し、技術・経営ノウハウ等を習得させるために研修を実施したり、職員等を次世代の経営者として育成するために、国内外の先進的な農業法人や異業種の法人へ派遣して、雇用就農者の確保及び育成を図る。※高知県による直接交付事業。 【R4年度】 JA・高知県中央東農業振興センターと新規就農希望者の情報共有を行い、就農相談時に事業説明を実施。 ・ニラ1名が研修中。
3-1. 担い手支援事業 (専業農家育成支援区分) ※R5年度より(青年農業者支援区分)に名称変更。 【補助交付人数(人)】	目標値 実績値 達成(評価) (C)	4 4 A	4 0 C	4 2 C	4 2 C	4 2 C	4 2 C	4 2 C		意欲のある就農希望者に対しては、就農相談等により香南市のPRを行い、研修受入農家とのマッチング、研修カリキュラム作成等研修期間前からのサポートをしていく。 新規就農相談時には、研修の必要性を説明し、事業につながるよう、JA・高知県中央東農業振興センターと新規就農希望者情報の共有・連携を行う。 今後も、香南市の農業を担ってくれる新規就農希望者であるかについて、担い手育成総合支援協議会において書類審査や面談を行い見極めていく。
【実施主体】 高知県 香南市 【連携する分野】 - (※当事業は就農前の支援) (※1.農業次世代人材投資事業(準備型)とリンクする) ※R4年度より「新規就農者総合対策事業(就農準備資金)」に名称変更。										産地提案書及び香南市基本構想に基づく品目を栽培する専業農家を目指し、高知県知事が就農に有効であると認める研修を実施する研修機関等及び農の雇用事業を活用する農業法人等で研修を受ける者に対して高知県及び香南市が補助する事業。 ※新規就農者総合対策事業(就農準備資金)及び農の雇用事業の上乗せ事業。 ※上記事業の対象外となる年齢の者も対象となる。(15歳以上65歳未満) ・香南市広報への掲載による制度の周知。 ・合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 ・JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金、農地等の課題に対応する。 R2:0名 / R3:2名(農業次世代人材投資事業(準備型)の上乗せ) 【R4年度】 新規就農者総合対策事業(就農準備資金)の上乗せとして2名。 ・JA・高知県中央東農業振興センターとの情報共有及び就農相談を行い、R4.6月の市広報で周知を実施。 ・新規就農を検討されている方々のニーズや相談を受けるためにR4.8.20に就農相談会(れんけいこうち)へ参加。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値								A/B/C		
	○具体的な取組	実績値										
担い手確保に向けた取り組み	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	3-2. 担い手支援事業 (後継者育成支援区分)	目標値	3	3	3	3	3	3		就農相談会(れんけいこうち)や新・農業人フェアへ参加し、市内出身者で市外及び県外在住の方へのUターン就農を促す。 JA・高知県中央東農業振興センターと連携し、後継者の情報を共有するとともに、広報への掲載(6月号)の他、地域計画策定に向けた協議の場を活用して、より広く周知することで、支援があることをきっかけに親元就農を考える機会にしようよう既存農家への働きかけを行う。 R5年度当初の時点で1名(みかん)予定。		
	【補助交付人数(人)】	実績値	0	2	1	0						
		達成(評価) (C)	C	B	C	C						
	【実施主体】 高知県 香南市			農家子弟を県外等からUターン就農させ、経営体の後継者として育成を行う認定農業者等に対して補助を行う。 ・香南市広報への掲載による制度の周知。 ・合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 ・JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金農地等の課題に対応する。 R2:2名(トマト1、みかん1) / R3:1名(ニラ)								
	【連携する分野】 - (※当事業は就農前の支援)			R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 【R4年度】 ・香南市農業委員会だよりによる事業内容掲載 ・新規就農を検討されている方々のニーズや相談を受けるためにR4.8.20に就農相談会(れんけいこうち)へ参加。 ・相談はあったが要件に該当しなかった(要件の担い手育成センター:四万十市に入校することが家庭の事情で難しい等)。								
	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	4. 新規就農者総合対策事業 (経営開始資金)	目標値	10	4	4	4	4	4		経営開始資金は、市の実践型研修ハウスを利用できるため、相談時に説明を行う。 また、県内外の就農相談会等で実践型研修ハウスの存在(県内でも当該ハウスを有している数少ない市町村)であり、新規就農者への環境整備が進んでいること)をアピールし、香南市への勧誘を行う。 高知県中央東農業振興センターと連携し、情報を共有し、HPで常時掲載するだけでなく、広報でも事業の周知を図る。		
	【補助金の新規交付人数(人)】 ※旧「農業次世代人材投資事業(開始型)」 R4年度に名称変更。 ※基準値について 第1期では当補助金の交付を受けた人数が目標であったことから、H30年度末は実績は13名。 第2期からは、新たに当補助金の交付を受ける者を毎年4名獲得していく。	実績値	13	6	2	4						
		達成(評価) (C)	A	A	C	A						
【実施主体】 高知県 香南市			次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し当補助金を交付し、青年就農者の確保及び育成を図る。 ・香南市広報への掲載による制度の周知。 ・合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 ・JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金農地等の課題に対応する。 R2:6名(ニラ4、トマト1、きゅうり1)※うち夫婦型1組 R3:2名(みかん1、ニラ1)※うち夫婦型への変更による追加1名を含む									
【連携する分野】 - (※当事業は就農後の支援)			R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 【R4年度】 新規交付者:4名(ピーマン1、ニラ3)※うち夫婦型1組2名を含む									
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)			
5. 農業後継者推進事業	目標値	15	6	6	6	6	6		JA・高知県中央東農業振興センターと連携し、後継者の情報を共有することで、事業の活用につなげていく。また、広報への掲載(6月号)の他、地域計画策定に向けた協議の場を活用して、より広く周知することで、資金面で不安を感じている方に対し、支援があることをきっかけに親元就農を考える機会にしようよう既存農家への働きかけを行う。			
【補助金の新規交付人数(人)】 ※基準値について 第1期では当補助金の交付を受けた人数が目標であったことから、H30年度末は実績は15名。 第2期からは、新たに当補助金の交付を受ける者を毎年6名獲得していく。	実績値	15	1	5	4							
	達成(評価) (C)	A	C	B	B							
【実施主体】 香南市			農業後継者の就農直後の不安定な経営を改善し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 (3親等以内の親族が経営する農業の後継者で、県及び国の支援事業に該当しない者が対象となる。) ・香南市広報への掲載による制度の周知。 ・合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 ・JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金、農地等の課題に対応する。 R2:1名 / R3:5名(シシトウ、ナス、みかん各1、ニラ2)									
【連携する分野】 - (※当事業は就農後の支援)			R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 【R4年度】 新規交付者:4名(水晶文旦1、ナス1、トルコギキョウ1、トマト1)									
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)			
6. モニターツアー事業	目標値	-	15	20	20	20	20		R5以降で事業を再開するにあたり、これまでのモニターツアー受け入れ農家も含め事業継続の可否を検討していたが、これまでの参加者が新規就農につながった実績がなく、受け入れ農家の負担の方が大きい現状を考慮し事業自体の中止を決定。 今後は地域支援課主体のワーキングホリデー事業等を通じて農作業を体験された方を就農に結び付けられるよう連携を図っていく。			
【参加者人数(人)】	実績値	-	-	-	-							
	達成(評価) (C)	-	-	-	-							
【実施主体】 香南市 香南市観光協会 (株)山北みらい			営農を検討している香南市内外の人を対象に香南市産地提案書品目を中心に農作業体験モニターを実施する。参加者アンケートにより、(株)山北みらいの「週末農家事業」や「繁忙期の担い手事業」(R2年度から各実施予定)への参加等連携した取組を行う。 ＜実績＞ H30 : 14名参加(ニラ6名、ショウガ2名、ミカン6名) / R1 : 未実施。 ＜取組＞ R2～ : 15名予定(ニラ(8月)、ブドウ(9月)、ミカン(11月)) R2,R3 新型コロナウイルス感染症の影響により、未実施									
【連携する分野】 - (※当事業は就農を検討される方に向けたスタートアップ事業)			R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 【R4年度】 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止。									

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について		
	事業名称 ○具体的な取組	目標値							A/B/C			
経営改善 ・ 農地維持に向けた取り組み	◆経営改善・農地維持に向けた取り組み											
	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	1. 園芸用ハウス整備事業 【整備件数(件)】	目標値	19	13	13	13	13	13		ハウス資材が高騰し、新設へのハードルが上がっているため、中古ハウスの改修・移設(流動化区分)を中心に事業の活用に向けて、広報等で周知していく。		
		実績値	13	6	11	8						
		達成(評価) (C)	B	C	B	B						
	【実施主体】 JA高知県 香美地区	R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	農家が規模拡大をする場合や、新規就農者がハウスを建設する場合に、JAがとりまとめを行い、申請してくるレンタルハウス事業や、中古ハウスの修繕や災害復旧に伴う建て替え等の整備に必要な経費の一部を県と市が補助し、農業者負担の軽減を図る。 ・香南市広報掲載への掲載による制度の周知や、JA高知県香美地区主催の説明会に市も参加して当事業について説明を実施する。 ・園芸用ハウス整備事業について説明を行うことで利用件数の増加を図る。 R3:規模拡大区分5件(うち、2件は高度化区分を併用申請)、流動化3件、高度化2件、新規就農1件									
	【連携する分野】 -		【R4年度】 流動化3件、高度化3件、新規就農2件の実施。									
	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	2. 環境制御技術高度化事業 【活用施設件数(件)】	目標値	19	25	25	25	25	25		これまでの実績により導入件数も増えてきたため以前ほどの活用件数は見込まれない点も踏まえ、要望調査時に精度を高める必要がある。 今後は既存の補助内容に加え追加した補助内容の周知を行い、装置等の導入ニーズの掘り起こしをJAを通じ農業者に行うことで事業活用につなげていく。導入ニーズの掘り起こしについては、JAを通じ、県補助金のタイミングと合わせて、秋ごろに翌年度の要望調査を行う。		
実績値		43	21	21	10							
達成(評価) (C)		A	B	B	C							
【実施主体】 香南市	R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	JA及び市場等を通じて要望を取りまとめ、炭酸ガス発生装置等のリース導入を行った施設園芸農家に対し、国及び県の補助金に追加して香南市も助成を行う。 R2: 環境制御技術導入 21施設(10経営体) 環境測定装置・炭酸ガス発生機・濃度コントローラー・ダクトファン・日射比例自動開閉装置 R3: 細霧冷房装置 1台 / 環境測定装置 15台 / 自動開閉装置 13台、ファインバブル発生装置 2台(1台は実施済) 日射比例灌水装置 2台 / 統合環境制御装置 2台										
【連携する分野】 -		【R4年度】 R4: 8戸(10施設)20機 環境測定装置 4台 / 炭酸ガス発生機 2台 濃度コントローラー・ダクトファン 4台 / サンソルバー4台 / 通信機器 6台 R3:10月の要望調査では、29台となっていたがコロナの影響による収入の減少と、燃油や電気代の高騰による負担を考慮し、設備投資を実施しないこととなったため、目標値には達していない。										
新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)			
3-1. 産地パワーアップ事業 【事業活用件数(件)】(ニラ)	目標値	48	30	30	-	-	-		R3年度で事業終了。			
	実績値	23	12	43	-	-	-					
	達成(評価) (C)	C	C	A	-	-	-					
【実施主体】 香南市	R3年度の具体的な事業内容 (P)(D)	産地の高収益化に向けた低コスト耐候性ハウスや環境制御装置を導入して、全国一のニラ産地を総合的に支援する。 R2: そぐり機 3件、自動開閉装置5件、環境制御装置2件、加温機1件、点滴灌水1件を整備										
【連携する分野】 産地パワーアップ計画書 【香南市(ニラ)第2期】		【R3年度】 産地パワーアップの名簿に記載されている農家118件のうち、既に72台(61%)が導入。 R3年度はR2年度と違い産地パワーアップ事業と環境制御装置を併用する農家が少なかった。 香南市ではR4年度の計画策定が困難のためR3年度限りで当事業(ニラ)は終了。 R4年度からは、ニラの洗浄そぐり機を導入する農業者に対して、県の環境制御技術高度化事業費補助金を紹介し、検討を促す。 ※環境制御技術高度化事業費補助金による活用は「全ハウスに環境制御装置の設置」が求められるためハードルが高い。 〈実績〉 低コスト耐候性ハウス 1件 / ニラ洗浄そぐり機 11件 / 循環扇 12件 / カーテン式 2件 環境制御装置 1件 / 点滴灌水 1件 / 加温機 1件 / 点滴チューブ 1件 (環境測定装置3件、統合環境制御装置1件、日射比例灌水装置3件、炭酸ガス発生機1件、LED電照装置1件、局所施用ダクトファン1件、濃度コントローラー1件、内張自動開閉装置2件)										

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組	実績値									
経営改善 ・ 農地維持に向けた取り組み	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	4. 人・農地プランの実質化 【協議地区数(地区)】	目標値	-	20	5	5	-	-		R5年度より人・農地プランが法定化され地域計画として取り組みが始まる。人・農地プランの20地域から担い手の少ない山間部の地域を合区にし、18地区に改め地域計画を策定する。今後、人・農地プランの実質化をベースに、18地区での話し合いを行っていく。地域計画の策定期間はR7年3月末となっており、農業委員会・高知県農業公社・JA・中央東農業振興センター等の関係機関と協力し地域での話し合いを活性化させる。	
	変更前	実績値	-	20	3	3					
	達成(評価) (C)	-	A	B	B						
	【実施主体】 香南市 香南市農業委員会 【連携する分野】 -		R4年度の具体的な事業内容 (P) (D) 【R4年度】 インフラ改善を実行するべく、3地区(土居・徳王子、白岩、上夜須)で地区の代表者・関係機関と打ち合わせを実施。そのうち2地区(土居・徳王子、白岩)では事業着手に向け調整が進んでいる。								
経営改善 ・ 農地維持に向けた取り組み	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	4. 地域計画の策定 【協議地区数(地区)】	目標値	-	-	-	-	6	12		R5年度より人・農地プランが法定化され地域計画として取り組みが始まる。人・農地プランの20地域から担い手の少ない山間部の地域を合区にし、18地区に改め地域計画を策定する。今後、人・農地プランの実質化をベースに、18地区での話し合いを行っていく。地域計画の策定期間はR7年3月末となっており、農業委員会・高知県農業公社・JA・中央東農業振興センター等の関係機関と協力し地域での話し合いを活性化させる。	
	変更後	実績値	-	-	-	-					
	達成(評価) (C)	-	-	-	-						
	【実施主体】 香南市 香南市農業委員会 【連携する分野】 -		R4年度の具体的な事業内容 (P) (D) 【R4年度】 人・農地プランから地域計画への移行に向けた準備段階として、人・農地プランで設定した市内20地区を再編。山間部で担い手及び集落の人口が特に少ない地区(⑮舞川・撫川・奥西川、⑲羽尾)を隣接地区に統合し、全18地区として計画することとした。								
経営改善 ・ 農地維持に向けた取り組み	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	5. 農産物のブランド化の推進(みかん) 【加工品の販売額(千円)】 → R5~ 【加工用みかん販売平均単価(円)】 ※当初設定した目標値は交付金事業により開発された加工品の販売額であったが、交付金事業の終了に伴い、事業関連に絞った集計が適当ではなくなり、事業関連に絞らない場合は、加工品全体の集計が困難となるため、R5年度より元々の目的を活かした上記の指標に変更する。	目標値	-	5,500	5,700	6,000	6,500 ▷ 32	7,000 ▷ 34		みかんバターはR5年度より(株)山北みらいが加工販売を引き継いだ。加工主体が変わることでの加工場や作業員の調整等の課題も残っている。その他交付金事業等で開発・商品化された加工品は、山北みらいを中心に加工販売に取り組んでいることから、引き続き、農業所得の向上や地域活性化等を図っていく。露地みかんの収穫期を迎える10月以降でJAや山北みらい等によるイベント出店の機会も増えてくるため、そこでの産地のPR活動により販路拡大や販売強化を図っていく。	
		実績値	5,344	5,649	2,415	6,476					
	達成(評価) (C)	-	A	C	A						
	【実施主体】 香南市農業活性化地域協議会 [JA生産者部会・地域各実行委員会 (株)山北みらい等] → R5~ JA高知県香美地区(山北果樹集出荷場) 【連携する分野】 商工業・観光		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 【R4年度】 みかんジュース : 6,476千円 ※みかんバターは事業承継の準備期間として一時的に加工、販売を中断。ジュースは山北みらいによる販売額。(R4は大口取引があり、大幅な売上増。)								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組	実績値									
戦略の柱	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	6. 農産物の販売力の推進(ニラ) 【ニラ販売額(千円)】 ※ JA高知県(香南市分)入金額 ※ 園芸年度: 8月~翌7月 ※ 当初設定した産地全体での目標値には系統外出荷も含まれていたが、系統外の販売額の集計ができないため、R5年度より系統出荷のみの目標として目標値を下方修正。	目標値	-	1,500,000	1,600,000	1,600,000	1,700,000 ▷ 1,000,000	1,750,000 ▷ 1,000,000			そぐりセンターが設置されたことでJA集出荷場の機能が強化されている。その中で、センターは系統外出荷の方も利用できるようになってきていることから、市やJAなど関係機関が連携し、センターの積極的な活用を促し、販売推進を図る。また、ニラを活用した商品(加工品)の可能性を探り、産地の強化に繋げていく。
	【実施主体】 JA高知県 香美地区(香美地区ニラ部会) 香南市観光協会 香南市・香美市 【連携する分野】 県 物産川アクションプラン NO.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト	実績値	1,170,000 (R元園芸年度)	1,002,722	965,311	982,639					
		達成(評価) (C)	-	C	C	C					
				香南市の基幹品目であるが、H27年のニラ農家全戸225戸への意向調査等によると、10年後には戸数・収量共に3割~4割減となる恐れがある。このため、規模拡大志向のニラ農家や品目転換農家、新規就農者に対して、空きハウスの活用や省力化・収量向上の支援を行い生産量の確保を図る。また、流通・販売、観光イベントと連携したPR等により産地強化を推進する。							
				<取組内容> ◆「担い手確保に向けた取組」の各事業、並びに実践型研修ハウス(H31・R元年度設置)の活用による担い手の育成・支援の取組。 ◆「経営改善・農地維持に向けた取組」の各事業によるハウス・機器類導入による生産量及び販売額の向上。 ①園芸用ハウス整備事業 ③産地パワーアップ事業(②環境制御技術高度化事業含む) ・高知県次世代型ハウス・農業クラスター促進事業(R元年度、設備導入)の運営の安定化。 ・販路拡大やPRイベントについてJAや観光協会、地元飲食店や地域と連携した取組。 ・農山漁村振興交付金事業(H29~R3年)によるパンフレット作成(R2年度予定) 【R4年度】 R3年度末に更新された「日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト」によるクラスタープランに基づき、JA及び中央東農業振興センターとも連携を図りニラの消費量の増加及び産地のPRに取り組んでいる。JAへの出荷販売額は10億円前後で推移しているが、市場のほか店舗、企業等との直接取引等による販売(系統外出荷)を含めると産地全体の販売力としては目標値から大きな乖離はないと推測される。							
戦略の柱	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	7. 中山間地域等直接支払事業 【対象農地面積(a)】 ※基準値について 第1期では当補助金の交付を受けた組織数が目標であったことから、H30年度末は実績が11組織であった。 第2期からは、組織の活動する面積を目標数値とし、拡大を図る。 ※R3.11月現在の実績が7,134aとなり、既に目標値を超えていることから、R4年度から約5%増加させた数値目標に上方修正。(R4年度より)	目標値	-	6,650	6,650	7,500	7,500	7,500			広報等で制度の説明及び周知を行い、新規の集落協定の掘り起こしを行う。集落戦略を作成した3協定(下山川・坪井・夜須南部)について、戦略に定めた計画を実行及び修正していく。
	【実施主体】 各地区の活動組織 【連携する分野】-	実績値	-	6,912	7,134	7,056					
		達成(評価) (C)	-	A	A	B					
				中山間地域の農業生産条件が不利な地域において、5年間の各集落団体による農地保全や営農活動を推進する。R2年度からは第5期対策(5年間、R2年度~6年度)として11団体で6,650aに取組む。交付金の加算項目となる「集落戦略の作成」「協定の連携による広域化活動」「指定棚田地域振興活動」等の取組実現に向けて各団体を支援していく。 ※当該団体を主体に、棚田地域振興法に基づく地域指定への取組(棚田を活用した地域活性化に繋がる活動計画策定や協議会設立等を検討) R2~R3: 将来を見据えた集落戦略の作成、並びに指定棚田地域の指定への取組 R4~R6: R2年度から具体化していく予定の「人・農地プラン(R5年度からは地域計画)」等と連携して各地域の実態を把握し、 対象の団体数や農地面積の拡大を図り、次期対策へと繋げていく。 【R4年度】 対象農地の編入・除外により、78a減少した。 集落の代表者と面談を行い、これまでの活動に対する自己評価を行った。 集落戦略が未完成であった2協定(坪井・夜須南部)の集落戦略が完成した。							
経営改善 ・ 農地維持に向けた取組	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	8. 多面的機能直接支払事業 【対象農地面積(a)】 ※基準値について 第1期では当補助金の交付を受けた組織数が目標であったことから、H30年度末は実績が11組織であった。 第2期からは、組織の活動する面積を目標数値とし、拡大を図る。	目標値	-	32,930	33,260	33,590	36,720	37,080			既存組織内で面積増加に向けて少しでも構成員の増加を図るよう、R5年度分の交付金手続き(年度初めから活動認定を行う夏頃までの間)の際に来庁した組織の代表者や事務担当者に対して直接呼びかけを行う。その後、次年度及び再認定に向けて、現地確認(12月頃)などの機会を利用し、継続した呼びかけを行う。
	【実施主体】 各地区の活動組織 【連携する分野】-	実績値	-	27,383	27,355	27,762					
		達成(評価) (C)	-	B	B	B					
				各地区の活動組織に対し、交付金を支払い、農地や農業用水路等の保全と質的向上を図る。 R2: 再認定1組織(西部)、新規立ち上げに向けた調整、既存組織の対象農地面積拡大 R3: 再認定1組織(上夜須)、既存組織の対象農地面積拡大 ▷ 再認定組織 1件(-30a) / 既存組織で面積見直し 1件(+2a) R4: 再認定1組織(西山)、既存組織の対象農地面積拡大 R5: 既存組織の対象農地面積拡大、新規組織の立ち上げ(予定) R6: 再認定5組織(出口、中ノ村、西佐古、古川、吉原)、既存組織の対象農地面積拡大 【R4年度】 再認定組織 1件(+407a) ・うしろ台(野市)で多面実施できないか打診。							

戦略の柱	◆取り組みの柱									
	事業名称	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	○具体的な取組	目標値	実績値						A/B/C	
取り組み	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	9. 有害鳥獣被害対策実施事業 【駆除数(頭羽)】	目標値	870	635	735	735	735	735		狩猟者のモチベーション向上を図るため、被害状況と近隣市町村の単価も踏まえ、R5年度よりシカ・イノシシの報償金単価を8,000円/頭から10,000円/頭に引き上げ。駆除許可の際に報償金の案内を行うことで駆除による有害鳥獣対策を行っていく。
	※R3年度の香南市有害鳥獣被害対策協議会の総会で、R3年度以降の駆除数が735に変更された。このことから数値目標を上方修正 (R3年度より)	実績値	679	837	684	851				
		達成(評価) (C)	B	A	B	A				
【実施主体】 香南地区猟友会 香我美狩猟クラブ	【連携する分野】	R4年度の具体的な事業内容 (P) (D)	香南市有害鳥獣被害対策協議会事業計画に則り、対象となる7種の鳥獣駆除に取り組む。 【目標値内訳(R3~)】 イノシシ300頭、鹿180頭、カラス50羽、狸・ハクビシン・アナグマ200頭、サル5頭 (計 735頭羽) ※R3総会で事業計画の見直しが行われ、R3年度より目標値が635から735に変更。 R2:イノシシ315頭、鹿170頭、カラス37羽、狸・ハクビシン 287頭・アナグマ27頭、サル1頭 (計 837頭羽) R3:イノシシ285頭、鹿134頭、カラス20羽、狸148頭・ハクビシン73頭・アナグマ23頭、サル1頭 (計 684頭羽) 【R4年度】 イノシシ370頭、鹿174頭、カラス25羽、狸162頭・ハクビシン74頭・アナグマ46頭、サル0頭 (計 851頭羽)							
新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
10. 有害鳥獣被害防止事業 【柵の設置距離数(m)】 7,385m	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		JAや猟友会等関係機関とも連携し、駆除の依頼への対応と併せて関係機関からもその都度補助金の紹介を行ってもらうことで、本事業の周知を行っていく。
	実績値	9,666	7,006	8,650	7,385					
	達成(評価) (C)	A	B	B	B					
【実施主体】 香南市	【連携する分野】 -	R4年度の具体的な事業内容 (P) (D)	有害鳥獣が農地に入らないように、補助金を交付し、防護柵の設置を推進する。 ・補助制度について香南市広報掲載や農業者から有害鳥獣による被害があった場合に活用を促す等して周知し、防護柵の設置を推進する。 【R4年度】 申請件数:38件 設置距離数:7,385m							
◆農業生産基盤の充実に向けた取り組み										
基盤整備・防災への取り組み	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1. 耕作条件改善事業 【地区数】	目標値	2	2	3	3	3	3		土居徳王子地区は県道沿水路改修工事と用水用の転倒ゲート設置2箇所を計画している。 白岩地区については水路測量設計委託業務とゲート設置工事3箇所を計画している。 両地区ともに細かい内容については業務の受注業者を含めて地元関係者と協議により詳細決定しながら進めていく。
	※当該年度内で取り組みが進行している地区数	実績値	2	3	2	2				
	R2・R3の実績値で一部誤りがあったため修正	達成(評価) (C)	A	A	B	B				
【実施主体】 香南市	【連携する分野】 -	R4年度の具体的な事業内容 (P) (D)	R2: 1.東佐古地区(水路改修工事)/ 2.中ノ村地区(曾我堰、農道水路改修工事)/ 3.土居・徳王子地区(地元調整) R3: 1.中ノ村地区(曾我堰改修工事)/ 2.土居・徳王子地区(地元調整) R4: 1.土居・徳王子地区(測量設計)/ 2.白岩地区(地元調整・採択決定) 【R4年度】 土居徳王子地区では水路の測量設計委託業務が完了。また、計画していた農地の集積もおおむね計画どおり進んでいるところである。 白岩地区については、集積の計画がまとまったため国へ事業採択申請を行っており、3月に採択決定通知が下りたためR5年度より事業着手していく。							
新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
2. 重油流出防止付燃料タンク整備事業 【整備数】 7箇所	目標値	26	20	20	20	20	20	20		JAや各栽培品目の生産者部会と連携をとり、加温品目の部会でタンク転倒によって引き起こるリスクと補助事業の周知を行っていく。また、これまでは経費節減のため燃料タンクからヒートポンプへ変更する方もいたが、電気代の高騰もありそのメリットが薄れている状況。 これまでの事業実績の積上げにより、整備が進んでいることもあるが、その上でどのくらいのニーズが残っているか、燃料代と電気代の価格変動にも注視しつつ、加温が必要になる時期までに生産者部会への声がけにより把握していくよう取り組む。
	実績値	19	5	2	7					
	達成(評価) (C)	B	C	C	C					
【実施主体】 JA高知県 香美地区 燃料販売を行う事業者	【連携する分野】 流出防止装置付き燃料タンク等整備計画	R4年度の具体的な事業内容 (P) (D)	重油タンク転倒時の流出防止付燃料タンクの整備及びヒートポンプへの変更の実施。 ※市が策定した流出防止装置付き燃料タンク等整備計画に基づくタンク・防油堤の設置及びヒートポンプへの変更を実施する。 R2: 津波浸水区域を優先的に実施。 当事業の周知: R元年度よりタンクの整備件数が減っていることから、市やJAの広報・HPで当事業の整備を積極的に周知 【R4年度】 ・要望調査を実施 ・7箇所の申請を行い、7件実施済							

第2期 香南市産業振興計画(KPI)

【林業分野】

数値目標	年度	基準値 (100%達成率)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
間伐面積 (ha)	目標値	68	25	40	50	65	51	231		※R3年度から上方修正 R3: 30 ≧ 40 / R4: 35 ≧ 40 合計 : 185 ≧ 200
	実績値	34.5	25.4	39.5	35.9					※R4年度から再度上方修正 R4: 40 ≧ 50 / R5: 45 ≧ 65 / R6 : 50 ≧ 51 合計 : 200 ≧ 231
	達成 (評価)	C	A	B	B					

■取り組みの内容について

【R4年度の総括】

間伐面積の実績は、保育間伐16.61ha(夜須町沢谷・羽尾、香我美町舞川)、搬出間伐19.26ha(香我美町撫川)となった。森林環境保全整備事業(保育・搬出間伐)において、12月時点で森林の間伐が途中までしか完了していない森林所有者があり、その森林所有者の全ての森林面積が次年度の補助申請(実績)となることから、当初の目標面積を下回った。

【補足】

※実績値を市補助金(県造林補助金の上乗せ補助であり、事後申請になる。)の申請面積で集計しており、県補助申請が12月末時点の実績で取りまとめるため、令和4年度の実績としては、R4年1月～12月の間伐実施面積となる。事後申請であることから、12月末時点で間伐途中の森林があった場合は、途中までの実績で精算せずにその森林所有者の森林の間伐が全て完了してから、次年度に申請するため、実績が当初の目標値を満たせない場合がある。

戦略の柱	取り組みの柱	年度	基準値 (100%達成率)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
事業名称	○具体的な取組	目標値								A/B/C
	実績値									

◆ 森林の管理

新規・拡大	継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
1. 意向調査の実施 【意向調査の面積(ha)】		目標値	-	30	45.85	120	140	145		引き続き、夜須町細川地区・沢谷地区で調査を実施。 ・R4年度の調査対象地区において、回答が無かった及び戸籍等で探索が必要な森林所有者に対して、調査を実施する。 ・新たに細川(林班7-1,2,3,4)及び沢谷(林班39-1,2)で意向調査を実施する。 また、調査予定の地区に加え、野市町内の森林で間伐を実施できそうな森林を選定し、R5年度以降の調査地区の追加に向けて調整する。 ※近年、市内において、地下水量の低下が問題となっており、将来的に地下水量を維持していくための対策として、森林の持つ水源涵養機能の向上が必要である。 現状、林業事業者が重点的に間伐を実施しているのは既に森林経営計画が樹立されている香我美町や夜須町の森林であるが、野市町内における地下水の将来的な維持・増進のためにも、今後、野市町(東佐古 等)でも間伐の実施を検討していく必要がある。 ※「森林環境の保全に向けた取り組み」の「1. 間伐事業(保育・搬出間伐)」の取り組み内容と連動。
(森林境界明確化及び間伐事業へと繋げるために、森林所有者に対して森林管理に対する意向を調査する事業)		実績値	-	121.5	26.1	82.3				
		達成(評価) (e)	-	A	C	B				
【実施主体】 香南市				森林環境譲与税を活用して、整備されていない森林の所有者に市から調査文書を送付し、自身が保有している森林の今後の管理について、「自身で管理する」又は「市に管理を委ねる」の回答を得る。当初は地籍調査が未実施の森林で調査を実施していたが、R4年度から地籍調査実施済みの森林でも調査を開始した。 R2 : 夜須町仲木屋地区(林班40~42)121.5ha ※地籍調査未実施 R3 : 夜須町仲木屋地区(林班40~42) 26.1ha ※地籍調査未実施 ※R2年度に調査した森林所有者のうち、未回答であった方(45.85ha分)を対象に実施した。						
【連携する分野】 - (参考) 林班 : 森林の区画の単位				R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 【R4年度】 登記簿及び課税台帳の情報をもとに森林所有者へ調査票を送付したところ、下記の回答実績となった。 夜須町細川地区(林班36-1,2,3) 54.4ha ※地籍調査実施済み 夜須町沢谷地区(林班38-1,2) 27.9ha ※地籍調査未実施						

◆ 森林境界明確化事業の実施

新規・拡大	継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
1. 森林管理制度森林境界明確化委託事業 【森林境界明確化委託業務面積(ha)】 (間伐事業の実施に向けて境界を確定していく事業)		目標値	170	25	40	40	40	40		R4年度から意向調査を実施中の夜須町沢谷地区で約40haを実施する予定。 ※現時点でR4年度の意向調査の回答面積が森林境界明確化の予定面積を下回っているため、業務委託発注までに所有者を探索する。(7月末まで)
		実績値	22.7	30.9	42.2	42.0				
		達成(評価) (e)	C	A	A	A				
【実施主体】 香南市 ※連携団体(香美森林組合)				意向調査を実施した森林について、市が事業主体となり、森林境界明確化を実施する。 R2 : R2年度に意向調査を実施した夜須町仲木屋で30.9ha実施。 R3 : R2・3年度に意向調査を実施した夜須町仲木屋地区で42.2ha実施。						
【連携する分野】				R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 【R4年度】 R2・3年度に意向調査を実施した夜須町仲木屋で香美森林組合に委託し、42ha実施した。						

森林環境の保全に向けた取り組み

戦略の柱	◆取り組みの柱										各事業の根拠について	
	年度	基準値 (R1年度実績)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成割合)				
	事業名称	目標値						A/B/C				
	○具体的な取組											
森林環境の保全に向けた取り組み	◆間伐事業の実施											
	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	1. 間伐事業 (保育・搬出間伐)【ha】 ※元「緊急間伐総合支援事業(保育・搬出間伐)」及び「森林管理制度間伐委託事業(保育間伐)」		目標値	68	25	35	50	65	51		保育間伐(施業地調整中)及び搬出間伐(香我美町撫川)を実施していく。 R5年度以降における野市町内(東佐古等)での間伐実施に向けて林業事業者と意見交換をした上で調整を図る。 ※近年、市内において、地下水量の低下が問題となっており、将来的に地下水量を維持していくための対策として、森林の持つ水源涵養機能の向上が必要である。 現状、林業事業者が重点的に間伐を実施しているのは既に森林経営計画が樹立されている香我美町や夜須町の森林であるが、野市町内における地下水の将来的な維持・増進のためにも、今後、野市町(東佐古等)でも間伐の実施を検討していく必要がある。 ※「森林環境の保全に向けた取り組み」の「1. 意向調査の実施」の取り組み内容と連動。	
			実績値	34.5	25.4	39.5	35.9					
			達成(評価) (D)	C	A	A	B					
	【実施主体】 香美森林組合 物部森林組合 その他林業者		「緊急間伐総合支援事業費補助金」を活用し、香美森林組合等が保育・搬出間伐を実施する。 R2：香美森林組合等が個人所有地の保育・搬出間伐を実施。 R3：香我美町別役・奥西川・撫川で保育間伐を実施。 【間伐事業の種類】①+②+③の合計が目標値になる。 ① 森林環境保全整備事業【保育間伐】(森林組合が事業を計画し実施)※R2年度に100%補助を新設 ② 公益林保全整備事業【保育間伐】(森林所有者主導の間伐を森林組合が取りまとめて実施) ③ 森林管理制度間伐事業【保育間伐】(森林環境譲与税を活用し、「経営が成り立たない森林」に対し、市が事業主体となり間伐を実施) ④ 森林環境保全整備事業【搬出間伐】(森林組合が事業を計画し実施) ※林業部会の数値目標は「個人所有地の間伐面積」であることから、香南市有林の間伐面積の反映は行わない。									
	【連携する分野】 -		R4年度の具体的な事業内容(P)(D) 【R4年度】 ① 森林環境保全整備事業【保育間伐】 15.49ha(夜須町沢谷・羽尾) ② 公益林保全整備事業【保育間伐】 1.12ha(香我美町舞川) ③ 事業無し ④ 森林環境保全整備事業【搬出間伐】 19.26ha(香我美町撫川) 森林環境保全整備事業(保育・搬出間伐)において、12月時点で森林の間伐が途中までしか完了していない森林所有者がおり、その森林所有者の全ての森林面積が次年度の補助申請(実績)となることから、当初の目標面積を下回った。 【補足】 実績値を市補助金(県造林補助金の上乗せ補助であり、事後申請になる。)の申請面積で集計しており、県補助申請が12月末時点の実績で取りまとめるため、令和4年度の実績としては、R4年1月～12月の間伐実施面積となる。事後申請であることから、12月末時点で間伐途中の森林があった場合は、途中までの実績で精算せずにその森林所有者の森林の間伐が全て完了してから、次年度に申請するため、実績が当初の目標値を満たせない場合がある。									

戦略の柱	◆取り組みの柱										
	年度	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成割合)	各事業の根拠について		
	事業名称	目標値						A/B/C			
	○具体的な取組										
啓発・普及への取り組み	◆山や森林に親しむ機会の提供										
	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	1. 木育事業【実施回数(回)】	目標値	-	11	13	13	13	13		① 木育イベントの開催 図書館等でのファーストスプーンや木工教室等を開催する。新たな取り組みとして、野市町大谷の「冒険の森」や企業と協定を締結した「協働の森」等をフィールドとした森林体験学習を開催する。 ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 所属長会での周知及び各保・幼・小・中学校に個別で事業提案し、実施に向けて調整する。 ③ 木育事業全般に係る周知活動 引き続き、木育事業を広報や市SNSを活用して周知していく。 ※R5年度から取り組み名称を変更。 ④ 香南市の森からの贈り物事業 市の広報や香南ケーブルTVと連携して放送している「木育Baby」により、事業を周知していく。 ⑤ 市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈 市内の小・中学校に要望を募り、木製備品を贈呈する。	
	実績値	-	10	12	13						
	達成(評価) (C)	-	B	B	A						
	【実施主体】 香南市	図書館等で子どもたちを対象とした木育イベントの開催する。また、市内の保育所や幼稚園、小・中学校の授業や行事での森林体験学習を実施する。 ※ 市内保・幼・小・中学校 22施設を対象とし、毎年11施設ずつ実施。 ※ 緑の募金を活用し、高知県森と緑の会と連携して事業を実施する。 ※ 森林環境譲与税を活用し、香南市農林水産課の事業として実施する場合もある。 ※ 林業関係者及び有識者と連携して事業を実施する。									
	※連携団体 高知県森と緑の会 香南市支部 香南市教育委員会 香美森林組合 地域の有識者	R2以降: ① 木育イベントの開催(子ども又は保護者を対象) ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 ③ 市主催以外の木育・林業関連のイベントの周知 ④ 香南市の森からの贈り物事業(市内の乳児に木のおもちゃを配布) ※R3から目標値に追加 ⑤ 市内の施設に香南市材を活用した木製おもちゃの贈呈 ※R3から目標値に追加									
	【連携する分野】	【R4年度】 ① 木育イベントの開催(3回) 7/31 木育指導員養成講座(参加者7名) 11/19 ファーストスプーン(参加者10組) 11/27 ファーストスプーン(参加者11組) ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施(6回) 6/24 佐古小学校(万華鏡づくり) 1/12 野市東幼稚園(竹コマづくり) 1/27 赤岡保育所(竹けん玉、竹コマづくり) 1/24 野市保育所(万華鏡づくり) 2/13 夜須幼稚園(ひのき机づくり) 2/15 野市東保育所(竹けん玉、竹コマづくり) ③ 市主催以外の木育・林業関連のイベントの周知(2回) 香南ケーブルTVと連携して放送中の番組「木育Baby」により、「香南市の森からの贈り物事業」を周知した。 (R4年度出演者10名) 3/29 桜の植樹事業: 博覧会関連記念植樹事業(牧野博士「らんまん」)実施 農林水産課窓口にイベントのチラシを随時設置。 ④ 香南市の森からの贈り物事業(1回) 市内の乳児208名に木製玩具を贈呈済。 【案内文書送付数】 R2年度(R2.4~R3.2出生) …191名(うち贈呈済 175名) R3年度(R3.3~R4.2出生) …230名(うち贈呈済 198名) R4年度(R4.3~R5.2出生) …240名(うち贈呈済 201名) ※出生届提出月の翌月に案内文書を送付。 ※申請は出生日から起算し、市内出生者は1年間、転入者は2年1カ月間有効。 ⑤ 子育て支援センター及び市内の認定こども園等に県産材を活用した木製玩具を贈呈(1回) 各施設からの要望を取りまとめ、贈呈済み。(7施設)									

数値目標	年度	基準値 (H27年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
沿岸漁業総生産額 (百万円)	目標値	-	285	290	295	300	305	1,475	高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額。 ※H24年度からH30年度までの沿岸漁業総生産額のうち、最大値・最小値を除いた平均値を算出し、伸び率10%(浜の活力再生プラン10%以上向上を引用)を考慮し算出。	
	実績値	358	290	254	253					
	達成 (評価)	-	A	B	B					

■取り組みの内容について

【R4年度の総括】

目標数値である「沿岸漁業総生産額」は、目標値(沿岸漁業総生産額)295百万円に対し、実績値は253百万円であったことから、取組評価はBとした。
 イワシシラスがシーズンオフの4月、5月及び夏頃に豊漁であったが、最盛期の12月から3月にかけて水揚げが少なく単価が上昇したが、令和3年度の生産額には届かなかった。
 また、シラについては令和3年度に比べると好漁であったが平均単価が下がった。
 また、他魚種の水揚げを行っている手結支所の水揚げについては、生産量は増加しており、生産額についても昨年度と比べて増加している。しかし、香南市全体の沿岸漁業総生産額についてはほぼ横ばいであった。
 「担い手の確保」については、昨年から引き続き「雇用型漁業支援事業」により4年度実績で2名を支援し、新たに「漁船導入支援事業」により6月から1件支援を開始した。
 複数人で操業する市内漁業形態においては、両事業が一番の担い手確保に繋がるため今後も広く周知していく。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H27年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	〇具体的な取組	目標値	実績値						A/B/C		
地産の強化	◆生産基盤の充実											
	新規・拡大・継続			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1. 水産機能施設の整備 【件数】			目標値	10 (延べ)	3	3	3	-	-		吉川では上架施設軌条改修の工事を実施する。 また、赤岡では荷捌所と揚降施設の補修を実施する。
	※基準値:H27-H30の延べ数。 R2年度の目標値は単年の数値			実績値	17 (延べ)	3	1	1				吉川 7月発注 11月竣工予定 赤岡 7月発注 10月竣工予定
	【実施主体】 香南市・高知県漁業協同組合			R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	R2: ①吉川水産機能施設(冷凍設備)改修 ②赤岡水産機能施設(上架施設)改修③吉川水産機能施設(荷捌き所)補修 R3: ①赤岡・吉川荷捌所トイレ改修②赤岡荷捌所屋根防水工事③吉川荷捌所土間補修工事 R4: ①吉川漁船修理場雨漏補修 ②吉川上架施設軌条改修 ③吉川荷捌所外壁補修 R5: ①吉川漁船修理場雨漏補修 ②吉川上架施設軌条改修 ③赤岡荷捌所改修 ④赤岡揚降施設改修							
	【連携する分野】-				【R4年度】 ①委託業務 吉川水産機能施設荷捌所外壁改修工事調査設計委託業 吉川漁船修理場雨漏補修工事設計委託業務 吉川上架施設軌条改修工事設計委託業務 ②請負工事 吉川水産機能施設荷捌所外壁改修工事(R5へ施工繰越)							
	達成(評価) (O)				A A C C							
	新規・拡大・継続			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	2. 漁港施設の整備 水産物供給基盤機能保全事業保全計画 【整備率%】			目標値	-	64	73	77	82	86		■住吉漁港 西防波堤 7月発注 12月竣工予定
	※ ○/11施設(A判定のみの数) ※ 参考: R元年12月末 6施設/11施設 = 55%			実績値	50	59	68	68				■吉川漁港 -3.0m泊地 -2.0m泊地浚渫 7月発注 12月竣工予定
【実施主体】 香南市			R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	【水産基盤ストックマネジメント事業(長寿命化)】 11施設 住吉漁港: 休けい物揚場(完)・東防波堤(完)・西防波堤 吉川漁港:-2.0m物揚場(完)-1.5m物揚場(完)・護岸(東)(完)・船揚場(4)(完) 導水施設(B):-3.5m航路-3.0m泊地-2.0m泊地 R2: 7施設/11施設 住吉: 西防波堤 0.5施設 吉川: 導水施設(B) 0.5施設 計1施設 R3: 8施設/11施設 住吉: 西防波堤 0.5施設 吉川: 導水施設(B) 0.5施設 計1施設 R4: 8.5施設/11施設 吉川: -3.5m航路 0.5施設 R5: 9施設/11施設 吉川: -3.5m航路 0.5施設 R6: 9.5施設/11施設 吉川: -3.0m泊地 0.5施設 ※あくまでも計画であり、施設状況・予算配分等で変更される場合あり。								
【連携する分野】-				【R4年度】 住吉漁港: 西防波堤の入札が不調となったため、施工方法の検討中である。 吉川漁港: 吉川漁港の-3.0泊地の一部浚渫を実施。 整備率は浚渫を実施したものの一部であるため令和3年度と変更なし。								
達成(評価) (O)				- B B B								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組	実績値								

戦略の柱	◆漁業者の生産性向上	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	新規・拡大・継続	1. 沿岸漁業設備投資促進事業 【件数】	目標値	-	1	1	1	1		船導入事業(漁船リースへの支援)については、(一社)高知県漁業就業支援センター及び希望漁業者と綿密に協議し、事業実施に向けた調整を継続していく。 ※R5以降は2件。 漁業者の生産性向上を図っていく。
		実績値	-	0	1					
	達成(評価) (○)	-	-	C	A					
	【実施主体】 漁業者・漁業就業支援センター (漁協・高知県・香南市) 【連携する分野】 -		R3: 漁船導入事業(漁船リースへの支援) ※希望者があり次第随時 【R4年度】 漁船導入支援事業は1件実施							

流通・販売の強化	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
		1. 市内水産物の魚価向上 【平均kg単価(円/kg)】	目標値 (シイラ)	-	138	141	144	147	150	県漁協手結支所で話があったPRグッズ等の作成については、地元食材をPRできる素材を関係機関で協議し、水産物の認知度向上に向けた取り組みを支援していく。 また、R4年度から部会に参画していただいた内水面養殖業者からも部会の中で意見をいただき内水面養殖業についてもどのような取り組みをしていくか協議していく。
		※基準値 H30年度の実績値は、H24からH30の7年度のうち、最大値と最小値を除いた5か年の平均単価。	目標値 (イワシシラス)	-	361	368	375	383	390	
		実績値 (シイラ)	135	93	207	178				
		実績値 (イワシシラス)	354	369	313	557				
		達成(評価) (○)	-	B	A	A				
	【実施主体】 高知県漁業協同組合 香南市観光協会 香南市商工会 シラス加工業者 漁業者 内水面養殖業者 行政(高知県・香南市) 【連携する分野】 観光分野、商業分野		【他分野との連携による市内水産物(シラス・シイラ)の利活用(観光協会等と連携)】 R2: 地元水産物の利用状況アンケートの実施・集計 【市・観光協会等】 ⇒ 未使用店舗への利用促進 ⇒ 地元からのPR強化 【市・観光協会等】 R3: 水産物のPRパンフ・地元水産物使用飲食店マップ作成 【市・観光協会等】 ※ 農産物も含めて地元産品全体のPRも検討 R4: 【水産業関係者と連携可能な事業所とのマッチング】 R2~: 漁協等と事業所のマッチングによる新商品の開発・販売【漁協等・事業所】 【R4年度】 市内水産物の利活用及び認知度向上に関する各種取り組みは実施できていない状況。 シイラは好漁であったが、単価が昨年度に比べて下がったが、目標値は上回っている。また、イワシシラスは、不漁であったが、単価が昨年度に比べ大幅に上昇し、目標値を大きく上回った。							

	年度	シイラ		イワシシラス		合計
		手結	赤岡	吉川		
生産量(kg)	R4.3末	207,345	290,018	282,443		572,461
	R5.3末	395,028	133,783	132,184		265,967
生産額(円)	R4.3末	42,862,853	93,682,200	85,546,700		179,228,900
	R5.3末	70,387,187	76,819,790	71,404,000		148,223,790
平均単価 (円/kg)	R4.3末	207	323	303		313
	R5.3末	178	574	540		557

流通・販売の強化	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
		2. 高知県漁協手結支所の販売額 【販売額:万円】 県内外の取引先との取引継続	目標値	3,000	5,100	5,200	5,300	5,400	5,500	今後、凍結機器の導入も検討しており、最終販売者に対して何の支援が必要か聞き取り等を漁協において実施し、販売額の維持・拡大を図る。
			実績値	6,328	4,055	3,635	5,615			
		達成(評価) (○)	A	B	B	A				
	【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 (高知県・香南市) 【連携する分野】 県物部川アクションプラン NO.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大		【県漁協手結支所販売事業の支援】 R2 : 香南市産業振興計画施設等整備事業費による「自動真空包装機」の導入 : 県版HACCP取得(県支援制度活用) R3~: プライン凍結機導入 【R4年度】 R3.7月に自動真空包装機を導入したことにより、冷凍フィレ等の出荷量は増加し、県内飲食店へ納入している仲卸業者への販売が拡大している。(R2: 294千円 → R3: 1,583千円 → R4: 3,500千円)							

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (R0年度)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成割合)	各事業の根拠について
	事業名称 ○具体的な取組		目標値							A/B/C	
戦略の柱	新規・拡大・ 継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	3.シラス加工品販売額 【販売額：万円/社】		目標値								今後取り組んでいかなければならない課題等を引き続き整理していく。 また、商工業サイドでの支援策も含め関係機関の情報を収集していく。
			実績値								
		達成(評価) (C)									
	【実施主体】 シラス加工業者 (高知県・香南市) 【連携する分野】 -										【シラス魚価向上につながる加工業者へのヒアリングの実施】 R2：県版HACCP取得(県支援制度活用) どのような取組が必要であるかのヒアリング⇒まとめ⇒取組決定 R3：加工場設備投資支援補助金の検討 ※加工業者数が少ないことから、目標値を設定すると業者の情報が見えてしまう恐れがあるため、設定はしないこととする。 【R4年度】 目標値設定 未実施 ・目標値(販売額)の設定 →意見を聞いた結果、件数が少ないため売上げがわかってしまうという意見もあり、目標値が設定できていない。
流通・販売の強化	◆ 学校給食等への納入		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1-1. 学校給食等への納入 (かちりじゃこ) 【納入回数(回)】 ※R3.11月現在の実績が48回となり、既に目標値を超えていることから、R2及びR3.11月現在の実績値平均により、R4年度から60回/年に増加させた数値目標に上方修正。 なお、学校給食への納入回数には就立の関係上、上限があるため、R5以降も継続して納入する計画として同数としている。 R4: 24 > 60 / R5: 28 > 60 / R6: 32 > 60		目標値	-	16	20	60	60	60		教育委員会(給食センター)と連携し引き続き納入していく。 また、教育委員会と、どの学年での授業に必要なか、どのような内容にするか等を今年度中に再度協議し、より授業に沿った教材づくりを次年度に行う予定。
			実績値	-	58	73	81				
		達成(評価) (C)	-	A	A	A					
	【実施主体】 市内加工業者 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等) 【連携する分野】 -										【市内水産物(かちりじゃこ)の給食センターへの納入促進】 ※ R2.2月に試験的な納入開始予定 R2～：16回/年 (1回/月×8ヵ月(6～9月納入なし)×2センターで算出) ※R2：第1期香南市産業振興計画の取組の中で、納入不可とされた加工業者との調整 【R4年度】 こうなん 42回 / 赤岡・吉川 39回 和え物等の複数の献立に使用されることもあり、計画を大きく上回っており、順調に推移した。
流通・販売の強化	◆ 学校給食等への納入		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1-2. 学校給食等への納入 (シイラ) 【納入回数(回)】		目標値	11	22	23	23	24	24		教育委員会(給食センター)と連携し引き続き納入していく。 また、教育委員会と、どの学年での授業に必要なか、どのような内容にするか等を今年度中に再度協議し、より授業に沿った教材づくりを行う。
			実績値	22	20	17	27				
		達成(評価) (C)	A	B	B	A					
	【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等) 【連携する分野】 県 物産部川アクションプラン NO.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大										【市内水産物(シイラ)の給食センターへの納入継続】 R2～：22回/年 (H27～H30平均納入回数 21回) ※献立により上限はあるが、使用頻度の増加を図る。 【R4年度】 こうなん 8回 / 赤岡・吉川 19回 R2、R3は県内の魚(カンパチやブリなど)を使用する県事業があったためその事業を優先したが、R4からはその事業がなくなったため、月1～2回ほどはシイラを納入し、4年度の納入実績を維持していきたい。
担い手の確保	◆ (一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1. 担い手の確保事業 (自営漁業者育成事業) (漁家子弟支援事業) (雇用型漁業支援事業) 【就業者数：人】		目標値	1	1	1	1	1	1		(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携により、就業希望者へ広く周知していく。
			実績値	0	1	2	2				
		達成(評価) (C)	C	A	A	A					
	【実施主体】 香南市 (一社)高知県漁業就業支援センター 高知県漁業協同組合・漁業者 【連携する分野】 -										R2.8～：各種支援制度の説明会の開催(年1回程度 既存漁業者対象) ※市内漁業形態では1人での操業が厳しい状況であり、雇用型・漁家子弟での確保を目指す。 R3.3末：就業希望者への主要漁業種別の生活プランの作成 → R4.4以降(一社)高知県漁業就業支援センター実施のフェア等への参加 【R5年度】 新規事業 水産業紹介教材の作成 【R4年度】 ・R4年度は雇用型漁業支援事業で2名を実施。

第2期 香南市産業振興計画(KPI)

【商業分野】

数値目標	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値	5年間の達成 (達成度合)	備考
商業者数 (事業所)	目標値	-	813	773	768	763	758	758 (延べ)		香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF~O・Q・Rに分類される事業所数。 H30年度に市商工会が高知県に報告を行った事業者数を基準値とし、そこから目標値の設定を行ったが、新型コロナウイルス感染症に関する周知等を行った際に、連絡が取れない等の事業者が見受けられたことから、R2年度に商工会による事業者の確認調査が実施された。 その結果、すでに廃業・店舗がなくなっている非会員事業者が多かったことがわかり、R3年度に数値目標を再設定。
	実績値	813	778	777	768					
	達成 (評価)	-	-	A	A					
新規事務系企業数 (企業/年)	目標値	-	2	2	2	2	2	10 (累計)		香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数。
	実績値	-	1	0	1					
	達成 (評価)	-	C	C	C					

■ 取り組みの内容について

【R4年度の総括】

商業者数は目標値768者に対して、実績値は768者となった。達成評価はAとなったが、昨年度実績値と比較すると9者の減となっており、今後も注視が必要である。新規事務系企業数は目標値2社に対して、県と連携した活動展開により、1社の誘致に繋がった(高知市からの移転)。首都圏企業については、本市と包括連携協定を締結しているインシ(株)が高知オフィス開設を発表し、R5年度からの開所を予定している。空き店舗活用に向けた取組としては、中心市街地及び地域商業活性化を図るため、「香南市中心市街地活性化計画」を11月に策定し、アクションプラン(取組内容案)も作成。具体的な実行体制の確立が課題となっている状況ではあるが、計画内容を実行に移していくことができるよう、グループに分かれた打合せの段取り等を進めているところである。空き店舗調査については、現地調査までは終了したが、とりまとめまでに至っていないため、引き続き取り組んでいく。空き店舗等対策事業費補助金の活用実績は1件となっており、次年度に繋がる具体的な相談案件もあった。担い手確保に向けた取組としては、各種施策についてHPや広報等を通して事業紹介を行うとともに、商工会とも連携して「事業承継セミナー」を実施。創業に関する取組では、創業支援計画の認定件数は0件となっているものの、令和4年度中に6件の新規創業があった。また、創業支援利子補給金については、新規の利用実績が2件あった。商業支援の取組としては、保証料補給事業における対象要件の緩和等を実施。金融機関への説明会も行っているが、利用認定件数が少なかつたため、今後も事業周知を図っていく。各種セミナーの開催については、前述の事業承継セミナーのほか、商工会主催によるインボイスに関するセミナーも計2回開催された。地場産品販売促進事業では、県内外問わず各種イベントへの出店や特産品の発送等を行ったほか、ふるさと納税掲載サイトの追加、楽天RPP広告の実施等も行い、積極的なPRに努めた。また、これまで「住宅部会」で記載されていた「住宅リフォーム推進事業」については、今年度より商業分野における取組内容に追加(住宅部会解体による)。利用率の高い支援策となっており、R5年度も引き続き実施することとなっている。

戦略の柱	◆ 取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値								
	○ 具体的な取組	実績値								

◆ 空き店舗対策

空き店舗活用に向けた取り組み	新規 拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1. 商店街等振興計画の策定 【計画策定】 コロナ感染症の影響に伴う経済対策事業の実施により、当初のスケジュールから大幅に遅れており、協議会等の立ち上げに至っていないため、R4.11月頃の計画策定を目指す。	目標値	-	計画策定	計画策定	計画策定	3	3		まずは実行体制構築より取り掛かり、策定された計画内容を実行に移すことができるように取り組んでいく。 ※計画に位置付けられた取組について、8~10月中のイベント開催(3種を想定)を目指し、順次協議予定 また、取組を推進していく支援策として、「中心市街地活性化計画推進事業費補助金」を創設する。
		実績値	-	-	未策定	計画策定				
		達成(評価) (○)	-	-	-	A				
【実施主体】 香南市 香南市商工会 地域事業者 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心市街地の振興	R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	地域商業を活性化させるために中心市街地を核にした振興計画を策定する ・R4.11月: 当計画を策定 【R4年度】 ・7月に協議会の立ち上げを行い、計3回の協議会(7/1, 10/26, 11/29)及び計5回(8/3,24, 9/14, 10/5, 11/9)のワーキンググループを開催。第3回協議会にて、「香南市中心市街地活性化計画」を策定した。 ・計画の中では、取組内容(案)として「アクションプラン」も作成している。 ※R5・6年度の目標値 「計画に基づくイベント開催数」とする								
2. 空き店舗実態調査の実施 【調査実施】	目標値	-	調査実施	調査実施	調査実施	-	-		調査内容のとりまとめを実施する。 調査は完了したため、R4年度までとする	
	実績値	-	-	調査実施	調査実施					
	達成(評価) (○)	-	-	-	A					
【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心市街地の振興	R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	市内全域の空き店舗数や形態に関する実態調査を実施する ・R4.12月: 最終とりまとめ 【R4年度】 ・R4.7月~R5.3月にかけて、赤岡町・香我美町・夜須町(R3年度の未完了エリア)における空き店舗調査を実施した。 ・現地調査までは完了したが、調査結果の最終的なとりまとめまでには至っていない。								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度)	各事業の根拠について	
	事業名称	〇具体的な取組	目標値							A/B/C		
空き店舗活用に向けた取り組み	新規	拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	3. 空き店舗バンク事業 【登録件数:累計(件)】		目標値	-	創設	5 (延べ)	10 (延べ)	15 (延べ)	20 (延べ)		空き店舗調査結果のとりまとめを行うほか、事務系企業の誘致事業において保存している空き店舗及び物件情報を共有し、市HP等で情報共有を行うとともに、四半期に一回程度の更新を行っていく。	
	【実施主体】 香南市 香南市商工会		実績値	-	-	-	-					
	【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興		達成(評価) (○)	-	-	-	-					
				R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗情報を一元化し発信する仕組みづくりを構築し、登録に向けて調査を進める 【R4年度】 ・空き店舗調査について、現地調査は完了したが、最終的な取りまとめには至っておらず、情報発信にまで繋がっていない。 							
	新規	拡大	継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	4. 空き店舗等対策事業 (空き店舗等対策事業費補助金) 【補助金利用件数(件)】		目標値	2	2	2	2	2	2	2		今後も、支援策の周知に努めるとともに、市商工会等と連携し、創業時の経営計画策定や手順等について支援を行い、空き店舗を活用した創業につなげる。
	【実施主体】 香南市 香南市商工会		実績値	1	0	0	1					
	【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興		達成(評価) (○)	C	C	C	C					
				R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗を活用した創業を支援する。 市HPや広報誌での情報発信 不動産業者や金融機関への補助事業の説明 【R4年度】 ・要綱の改正により、補助率及び補助上限額の拡充を実施(4/1) ・市内金融機関に対する補助事業の説明(4/11) ・市HPでの情報発信 ・補助金に関する問合せ:9件(創業に関する相談があった際には事業紹介を行っている。うち1件についてはR5年度申請に向けて調整中) ・補助金活用実績:1件(R3年度中より相談のあった事業者による活用あり) 							
新規	拡大	継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
5. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致 【誘致企業数(件)】		目標値	-	2	2	2	2	2	2		4/1付けにてイシン(株)が高知支社を開所。今後も、立地企業が行う人材募集等に関して支援(市HPや広報誌等)を実施していく。また、オンライン会議や企業訪問により、継続した企業誘致活動を展開するとともに、空き店舗調査のとりまとめ等により、紹介できる物件数の充実を図っていく。	
【実施主体】 香南市		実績値	-	1	0	1						
【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興		達成(評価) (○)	-	C	C	C						
			R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	<ul style="list-style-type: none"> 地方への進出を検討している首都圏企業に対して、補助制度や物件等を提供することで、市への企業誘致を図る。 ・イシン(株)との連携による首都圏企業訪問(オンライン) ・空き店舗等の物件調査(随時) ・香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助金の活用 【R4年度】 ・首都圏企業が現地視察(4/12) ・BCP対策で移転を検討していたヤフー(株)高知センターに、県と連携して誘致活動を展開し、誘致に繋げることができた(9/26移転) ・立地検討企業への補助制度等の説明(説明企業:3社 ※オンラインによる説明) ・香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助金(申請件数:2件 ※新規企業は1件) ・イシン(株)が当市への高知オフィス開設を発表(3/23) 								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称		目標値							A/B/C		
	○具体的な取組		実績値									
担い手の確保に向けた取り組み	◆担い手の確保・育成											
	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	1. 事業承継の推進 【事業承継事業者数(人)】 R3.11月末の実績が2事業者となり、既に目標値を超えている。 市商工会が把握している過去3年(H30～R2年度)の実績平均値が6であり、この平均を超えるように上方修正。 R4～6: 1▶6へ	目標値	-	アンケート調査等	1	6	6	6			事業承継に関する情報を市広報誌等を活用して発信することで、事業承継の取組に対する意識向上を図っていくとともに、商工会や事業承継・引継ぎ支援センターとの連携を図っていく。 また、事業承継に係る支援制度創設について、検討を行っていく。	
	実績値	-	-	2	3							
	達成(評価)(○)	-	-	A	C							
【実施主体】 香南市 香南市商工会	【連携する分野】 工業分野、観光分野	・既存事業者に対するアンケート調査及びヒアリング調査を実施する ・市HPや広報誌での情報発信を行う 【R4年度】 ・事業承継・引継ぎ支援センター等に関する情報を市広報誌に掲載(7月・9月) ・市商工会による事業承継ヒアリング件数 22件 ※ヒアリング内容:後継者の有無・承継に向けた準備の有無・相談相手の有無 等 ・事業承継・引継ぎ支援センターへの相談件数(香南市区): 34件 ・事業承継セミナーの開催(2/13):香南市商工会後援にて、市内事業者や県内学校関係者等にも案内を実施し、計23名の参加あり										
担い手の確保に向けた取り組み	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	2-1. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金) 【利用件数(件)】	目標値	10	5	5	5	5	5			企業訪問や市広報誌+周知媒体を増やし、事業の周知を行い、利用件数の増加を図る。 また、城山高校の2年生を対象とした合同企業説明会で、学生向けに事業周知を行う。 他分野と連携し、より効果的な周知を行っていく。	
		実績値	0	0	5	2						
	達成(評価)(○)	C	C	A	C							
【実施主体】 香南市	【連携する分野】 工業分野、観光分野	・人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。(返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間) ・H28年度から本事業を開始したが、利用がないことからR2年度より要綱を改正し、新卒者のみでなく、中途採用(40歳未満の方)も対象とした。 ・企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図る。 【R4年度】 ・企業訪問による事業案内 ・香南市広報6月号掲載 ・高知職業能力開発短期大学校オープンキャンパスでの事業案内(R4年6月・7月開催) ・合同企業説明会での案内(R4年5月・9月・R5年2月開催) ・成人式でのチラシ折込 ・補助金交付済 5件(R3年度認定者) ・新規認定 2件 (R4年度認定)										
担い手の確保に向けた取り組み	新規 拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	2-2. 人材ニーズの掘り起こし及び発信 【仕事情報件数(件)】	目標値	-	5	5	5					必要に応じて、適宜関係機関等との連携はとるが、本計画の項目からは外すこととする。	
		実績値	-	-	-	-						
	達成(評価)(○)	-	-	-	-							
【実施主体】 香南市	【連携する分野】 農業、林業、水産業、工業、観光分野、移住	市商工会と連携し、巡回指導時等に同行し企業訪問を行い、人材ニーズの掘り起こし等を行う。 【R4年度】 ・巡回指導への同行、企業訪問ともに実施できていない。										
担い手の確保に向けた取り組み	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	3. 創業支援事業 【創業者数(人)】	目標値	-	6	6	6	6	6			創業者にとって、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓に関する基礎等を習得し、持続可能な経営を行っていくための1ツールとして、商工会とも連携しながら創業希望者への周知を図っていく。	
		実績値	-	11	3	6						
	達成(評価)(○)	-	A	C	A							
【実施主体】 香南市 香南市商工会	【連携する分野】 工業分野、観光分野	市が創業支援事業者(商工会、金融機関等)と連携し、専門家による支援等を実施し、創業される方や創業後間もない方を支援する計画。 ※特定創業支援事業の認定を受けることで登録免許税の減額等の措置あり。R2.12に更新済。 【R4年度】 ・市HPでの情報発信 ・R4年度では6件の創業があったが、当計画に基づく認定件数は0件となっている。										

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H20年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称		目標値							A/B/C		
	○具体的な取組		実績値									
	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	4. 創業支援利子補給金事業 【利用件数】		目標値	3	3	3	3	3	3		商工会や金融機関等と連携し、本補給金事業の周知を図り、創業時の経済的負担の軽減を図る。	
			実績値	2	3	2	3					
			達成(評価) (O)	B	A	B	A					
【実施主体】 香南市 【連携する分野】 - 工業分野、観光分野		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	<ul style="list-style-type: none"> 市内金融機関から創業向け融資を受けた創業者が支払った利子のうち年利1%に相当する額を補給する。(補給対象期間は償還開始日から2年間で1事業者につき年間10万円を上限) 市HPや広報誌等での情報発信や金融機関への紹介を行い、創業者による利用の促進を図る 【R4年度】 <ul style="list-style-type: none"> 市HPでの情報発信 市内金融機関に対する事業説明(4/11) 利用件数:3件(うち新規利用2件) 									
商業支援	◆ 商業支援		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	1. 中小企業者等保証料補給金事業 元「緊急融資保証料補給金事業」 【新規利用件数(件)】		目標値	-	1	1	10	10	10		本事業周知にあたっては、金融機関との連携も必要となるため、昨年度に引き続き、市内金融機関を対象とした説明会を開催する(6~7月予定)。説明会では、本制度のみでなく、他の補助金等についても紹介を行い、各種事業の周知を図る。	
	R4年度から制度内容の拡充(対象融資の拡充)を行うため、これまでよりも利用件数が増加することが見込まれるため上方修正		実績値	-	-	1	2					
			達成(評価) (O)	-	-	A	C					
	【実施主体】 香南市 高知県信用保証協会 【連携する分野】 工業分野、観光分野		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	市内中小企業者が県緊急融資を受けた場合、融資に必要な信用保証を行う県信用保証協会に対して補給する。 商工会や金融機関等と連携し、必要としている事業者に周知を図る。 市HPや広報誌での情報発信 【R4年度】 <ul style="list-style-type: none"> 高知県信用保証協会との契約締結(4/1) 市内金融機関に対する事業説明(4/11) 新規利用件数(利用認定、保証料補給) 2件 セーフティネット保証認定 14件(うち4号:9件、5号:5件) 								
	2. 各種セミナーの開催 【開催数(回)】		目標値	-	2	2	2	2	2		今後も事業者のニーズや時代に合わせたセミナーの開催を検討していく。	
			実績値	-	2	0	3					
			達成(評価) (O)	-	A	C	A					
	【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 工業分野、観光分野		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	経営等に関する様々なセミナーを開催することで、経営者や従業員のスキルアップを図り、事業の維持・発展につなげる。 R3:新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、実施見送り 【R4年度】 <ul style="list-style-type: none"> インボイス関連のセミナーを開催(10/3:7事業者参加、11/14:11事業者参加) ※商工会主催(講師:税務署職員) 事業承継セミナーを開催(2/13:23名参加) ※香南市主催・商工会後援(講師:事業承継・引継ぎ支援センター職員+市内事業者講演) 								
	3. 香南カーニバル事業 【参加店舗数(軒)】		目標値	45	45	200	検討	検討	検討		市内事業者の経営状況の把握に努め、必要に応じて、商工会と検討していく。	
		実績値	45	82	224	-						
		達成(評価) (O)	A	A	A	-						
【実施主体】 香南市商工会 地域事業者 【連携する分野】 農業分野、水産業分野、 観光分野		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	R2:香南カーニバルの実施 / R3:香南カーニバルの実施 / R4:非実施 【R4年度】 -									

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (R20年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称		目標値							A/B/C		
	○具体的な取組		実績値									
商業支援	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	4. 地場産品販売促進事業 【カタログ販売額+ふるさと 応援寄付金事業 (事業者売上額:千円)】		目標値	104,000	109,400	114,600	119,800	125,000	130,200		今後も、イベント等でのPRを継続して実施していくとともに、ECサイトにおいては、季節商品を掲載する等、引き続き内容の拡充を図っていくことで、地元事業者の売上増を目指す。	
	※R3年度実績値について、積算に一部誤りがあったため修正		実績値	119,752	169,661	110,158	112,398					
			達成(評価) (C)	A	A	B	B					
	【実施主体】 香南市観光協会 香南市		R4年度の 具体的な 事業内容 (P)(D)	R2: カタログ4,400千円 + ふるさと応援寄付金 105,000千円 計 109,400千円 R3: カタログ4,600千円 + ふるさと応援寄付金 110,000千円 計 114,600千円 R4: カタログ4,800千円 + ふるさと応援寄付金 115,000千円 計 119,800千円 R5: カタログ5,000千円 + ふるさと応援寄付金 120,000千円 計 125,000千円 R6: カタログ5,200千円 + ふるさと応援寄付金 125,000千円 計 130,200千円								
	【連携する分野】 農業分野、水産分野、 観光分野			R4: 寄付額増加を図るために、現在の登録サイト数を増やし、納税者との接触できる機会の増加を図る。 ふるさと応援寄付金・カタログ事業ともに継続して新規事業者の参画呼びかけや新商品、季節商品の充実を図るなどし、リピーターの確保及び新規顧客の獲得につなげていく。								
	県 物部川アクションプラン NO.12 香南市における特産品づくりと販売の促進			【R4年度】 ・実績値内訳: カタログ10,321千円 + ふるさと応援寄付金102,077千円 < R3: カタログ9,899千円 + ふるさと102,259千円 > ・新たな事業者開拓 カタログ: 新商品(18商品)、ふるさと: 新規参加事業者(5社)、季節商品(20商品)、新商品(46商品)の開発 ・イベント等への出店や資料発送による、特産品、カタログやふるさと応援寄付金のPR(高知大丸周年祭: 5/21-22、高知新港客船飛鳥Ⅱ: 6/17、高知暮らしフェアin東京: 6/19、岡山県鏡野町産業まつり: 9/4、ご当地キャラまつりin須崎9/10-11、沖縄県八重瀬町・南の駅やえせ高知フェア: 10/30、ふるさと祭り: 11/11-13、香南ふれあいまつり: 11/23、カシオワールドオープンゴルフ: 11/24-27、日曜日: 1/8、高知駅前イベント: 2/23、明治安田生命レディースゴルフ: 3/9-12、ANAに乗って「高知家」応援キャンペーン: 3/24 など) ・ふるさと納税: 掲載サイトを4社追加(さとふる・ANA・JAL・セゾン)、楽天RPP広告の実施(2~3月)								
	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	5. 住宅リフォーム推進事業 (香南市住宅リフォーム補助金) 【補助金額を含むリフォーム総事業費 (万円)】		目標値	-	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		当補助金は、2年ごとに事業継続を見直すこととしている。利用度も高く、市内経済にも寄与していることから、R5年度からの2年間も継続する見込み。	
			実績値	11,100	11,263	11,446	11,363					
		達成(評価) (C)	-	A	A	A						
【実施主体】 香南市(建設課)		R4年度の 具体的な 事業内容 (P)(D)	市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合、その工事費用の20%(上限200千円)を補助する事業。また、R元年度より以前に補助金の交付を受けられた方で、上限200千円に達していない方は2回目の交付を受けられるようになっている。 ※ 当事業は2年更新の事業であり、次期更新検討はR6年度(R7~R8)を予定している。 ※ 見直しによって数値目標の下方修正の可能性もあるが、現時点では継続としている。 R3年度実績: 11,446万円 ※補助金申請件数: 99件 ※補助金交付決定額: 1,499万円									
【連携する分野】 -			【R4年度】 住宅リフォーム推進事業では、住民への補助制度の周知が進み、利用率も高く、人気の高い取り組みとなっている。これは、R元年度より1世帯当たりの上限額(20万円)に至っていない場合、上限額までの申請(2回目の申請)を可能にしたことが理由の一つと思われる。 R4年度補助金の実績は93件あり、1,500万円の枠に対し1,499.9万円の交付がされた。 当補助金を含む、リフォームにかかる総事業費は11,363.3万円であり、市内経済の発展に寄与している。									

第2期 香南市産業振興計画(KPI)

【工業分野】

数値目標	年度	基準値 (R1年度実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500	360	380	400	420	440	2,000		工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R元年工業統計結果(速報)の造品出荷額344億円から、R2年度以降に操業開始を予定している企業の事業計画による見込みと、第2期からの支援施策による増加分を見込んだもの。
	実績値	344	344	380	-					
	達成(評価)	B	B	A	-					
新規雇用者数 (人)	目標値	-	5	8	19	16	15	63		市内立地企業に新たに雇用された市内在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在雇用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用者と仮定し、地元雇用者数の70%を見込んだもの。 ※R2.R3年度の実績に齟齬があり修正。
	実績値	-	21	29	14					
	達成(評価)	-	A	A	B					

【R4年度の総括】

製造品出荷額400億円の数値目標に対し、R3年実績の工業統計調査結果は未だ公表されていないことから、R5年4月現在の評価は示していない。もう一つの数値目標である新規雇用者数については、19人の目標に対して実績値が14人となり、評価はBとなった。目標未達成の原因としては、令和3年度に立地企業が雇用を前倒し、予定より多く雇用したため、令和4年度の雇用人数が少なくなったもの。令和4年7月には、YAMAKIN(株)が本社を大阪から当市に移転し、11月には中土佐町大野見より香南市に移転した(株)ミツトヨが操業を開始しており、新たな雇用の場や製造品出荷額の増加に繋がる明るい話題もあった。

戦略の柱である「企業誘致の促進」の新規工業団地整備事業については、隣接する宅地造成事業との一体的な計画で進めてきたことから、宅地造成事業の中止決定により、工業団地ののみ事業を進めることは難しく中止となった。

また、新たに工場用地を取得し補助金申請のあった立地企業2社が操業を開始したが、補助金交付要件となる新規地元雇用者が予定人数に達していないため、補助金の交付には至っていない。

もう一つの戦略の柱である「既存企業の育成・支援」については、市内事業者への原油価格高騰対策として、「原油価格等高騰対策給付金事業」を実施し、各種支援事業とあわせて企業訪問等で周知を行った。

また、新型コロナウイルス感染症等の影響で見送られていた工場見学ツアーを初開催し、若者の地元定着につながる取組を実施することができた。今後も企業訪問等を行い、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用や経営状況の把握に努めるとともに、アフター・コロナに向けた各種支援事業の紹介を行うことで既存企業を支援していく必要がある。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (R1年度実績)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値							A/B/C		
企業誘致の促進	○具体的な取組	実績値									
	◆ものづくりの基盤整備										
		新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
		1. 新規工業団地整備事業 【工業団地の選定】R2 【造成基本設計】R3	目標値	-	候補地選定調査	造成基本設計	共同開発に関する協定締結	測量造成実施設計	用地買収		事業の中止と判断されたため、R3年度までとする。
			実績値	-	適地調査完了	造成基本設計完了	-				
			達成(評価) (○)	-	A	A	-				
		【実施主体】 香南市 高知県			【R2年度】 ・新規工業団地を整備するため適地調査を実施し、候補地の選定を行う。⇒工業団地適正地検討資料作成委託業務						
		【連携する分野】-			【R3年度】 ・適地調査で選定された5箇所の候補地より、香我美町下分地区を最終候補地に選定。 ・最終候補地(香我美町下分地区)の選定と造成基本設計について地権者や関係機関に説明会を開催。 ※以下の①~⑥を開催 ① 議員全員協議会での説明(4/23) / ② 山南土地改良区への説明会(7/2) ③ 山南まちづくり協議会への説明会(7/4) ④ 地権者等への説明会(7/12) / ⑤ 山南土地改良区への事業進捗説明会(12/8) ・農地区分や法規制の確認を行ったうえで造成基本設計に着手。⇒R4.3.14完了 【R4年度】 ・再検証の結果、事業中止となる。 ・事業中止について、地権者や関係機関に説明会を開催 5/23…議員全員協議会での説明 5/29…山南まちづくり協議会への説明 6/7…所属長会(市教育委員会)での説明 6/15…山南土地改良区への説明・地権者等への説明						
		新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
		2. 香南市企業立地促進事業 【条例改正】R2 【利用件数(件)】R3	目標値	条例策定	条例改正	1	1	1	1		立地企業の雇用スケジュールにあわせて企業説明会・面接会を開催し、一人でも多くの地元雇用につなげる。
	実績値		策定	制定	2	-					
	達成(評価) (○)		A	A	A	-					
	【実施主体】 香南市			【R2年度】 ・現行の支援制度の見直しを行い、立地企業の用地取得に伴う負担を軽減し、雇用の促進と生産性の向上を図るため『香南市企業立地促進事業費補助金』を新たに制定。(※ R3年度より施行)							
	【連携する分野】-			【R4年度】 ・補助金申請2件 (株)暁産業…(7/11操業開始) (株)ミツトヨ…(11/1操業開始) ・企業説明会、面接会の開催 8/12、8/13、2/5 …(株)ミツトヨ高知工場							

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度)	各事業の根拠について		
	事業名称	目標値	実績値							A/B/C			
既存企業の育成・支援	◆ 中小企業の技術向上&経営革新の支援												
	新規・拡大・ 継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	1. 商談会開催事業 【商談件数(件)】 ※R2年度よりKPIに追加		目標値	-	50	50	50	50	50		引き続き、高知県産業振興センターと連携するとともに、企業訪問等により商談会を促すことで受注拡大と販路拡大を図る。		
			実績値	-	30	19	65						
			達成(評価) (G)	-	B	C	A						
	【実施主体】 香南市(公財)高知県産業振興センター 【連携する分野】-		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	<ul style="list-style-type: none"> 市内のものづくり企業に高知県産業振興センターが主催する商談会への参加を促し、受注拡大を図る。 香南市商談会開催事業費補助金 (商談件数) H30年度…40件 / R元年度…32件 / R2年度…30件 / R3年度…19件 R2: 工場視察商談会22件、県単独商談会 8件 / R3: 工場視察商談会0件、県単独商談会 19件 【R4年度】 高知県内開催 商談件数…21件(工場視察商談会7件、県単独商談会14件) 新型コロナウイルス感染症の影響で、工場視察商談会を12回→9回に変更 高知県外開催 商談件数…44件(マッチング商談会in大阪9件、マッチング商談会in広島12件、四国モノづくり合同商談会2022in香川14件、関西・四国合同商談会9件) 									
	新規・拡大・ 継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	2. 中小企業者の生産性向上支援事業 【先端設備等導入計画認定件数(件)】		目標値	30	30	30	30	15	15		「香南市先端設備等導入支援事業費補助金」を活用することで設備取得の更なる軽減が図れる旨を説明し、計画策定件数の増加を図る。 また、本事業は当初令和4年度末までとなっていたが、R5.4に新たな税制措置が施行され2年間延長となったことから、目標値を実績ベースで再設定し、認定支援機関等と連携して事業の周知をしていく。		
			実績値	8	16	11	7						
			達成(評価) (G)	C	C	C	C						
	【実施主体】 香南市 【連携する分野】-		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	<ul style="list-style-type: none"> 【R元年度～R4年度】 市内の中小企業者等が年3%以上の「生産性向上に繋がる設備計画(先端設備等導入計画)」を策定し、市の認定を受けたうえで実施する設備投資に係る固定資産税率を3年間ゼロにする。 固定資産税の特例措置延長により、先端設備等導入計画の認定受付期間はR5年3月31日まで 【R5年度～R6年度】 市内の中小企業者等が年3%以上の「生産性向上に繋がる設備計画(先端設備等導入計画)」を策定し、市の認定を受けたうえで実施する設備投資に係る固定資産税率が3年間1/2に軽減されるうえ、さらに買上げ方針に従業員に表明した場合は最長5年間、1/3に軽減。 固定資産税の特例措置延長により、先端設備等導入計画の認定受付期間はR7年3月31日まで 【R4年度】 新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響による企業の設備投資の減少や、企業訪問回数の減少による周知不足により、目標値に大幅に届いていない。 企業訪問による事業紹介 7回 先端設備等導入計画 新規認定2件 / 変更認定5件 先端設備等導入支援事業費補助金交付 9件(※R3認定分含む) 									
	新規・拡大・ 継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
3. 香南市産業人材育成事業 (香南市産業人材育成事業費補助金) 【利用件数(件)】		目標値	10	5	5	5	5	5		引き続き企業訪問や立地企業交流会等で事業の周知を行い、利用件数の増加を図る。 令和5年度より申請書類の簡素化を図るため要綱改正し、これまで活用したことがなかった事業者にも活用してもらえよう商工会等と連携して周知をしていく。			
		実績値	0	5	2	4							
		達成(評価) (G)	C	A	C	B							
【実施主体】香南市 【連携する分野】商業分野		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	<ul style="list-style-type: none"> 市内に事業所がある事業主や従業員等を対象に、人材育成に係る研修への参加、講師招聘に係る経費について、1事業所あたり年間20万円を上限として補助。(補助率1/2) 企業訪問や懇談会等で事業紹介を行い利用促進を図る。 高知職業能力開発短期大学校が開催する人材育成研修の利用促進を図る。 【R4年度】 市内事業者が自社のスキルアップを図るために実施した、産業雇用安定センターの講師招聘や、県外中小企業大学校の研修への参加に利用があった。 企業訪問による事業紹介 / 補助金交付件数 4件 										
新規・拡大・ 継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)			
4. 香南市未来人材育成奨学金 返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成金) 【利用件数(件)】		目標値	10	5	5	5	5	5		企業訪問や市広報誌+周知媒体を増やし、事業の周知を行い、利用件数の増加を図る。 また、城山高校の2年生を対象とした合同企業説明会で、学生向けに事業周知を行う。 他分野と連携し、より効果的な周知を行っている。			
		実績値	0	0	5	2							
		達成(評価) (G)	C	C	A	C							
【実施主体】 香南市 【連携する分野】 商業分野、観光分野		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	<ul style="list-style-type: none"> 人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。(返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間) H28年度から本事業を開始したが、利用がないことからR2年度より要綱を改正し、新卒者のみでなく、中途採用(40歳未満の方)も対象とした。 企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図る。 【R4年度】 企業訪問による事業案内 香南市広報6月号掲載 高知職業能力開発短期大学校オープンキャンパスでの事業案内(R4年6月・7月開催) 合同企業説明会での案内(R4年5月・9月・R5年2月開催) 成人式でのチラシ折込 補助金交付済 5件(R3年度認定者) 新規認定 2件 (R4年度認定) 										

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称		目標値							A/B/C		
	○具体的な取組		実績値									
既存企業の育成・支援	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	5. 合同企業説明会の開催 【開催回数(回)】		目標値	-	2	2	2	2	2		高知県主催合同企業説明会の開催時に広報等で周知を行い参加者数の増加を図る。 R6.2.7に城山高校での合同説明会開催を予定している。	
			実績値	-	2	1	3					
			達成(評価) (C)	-	A	C	A					
	【実施主体】 香南市/高知県 【連携する分野】-		<p>・企業合同説明会を開催することで、立地企業の魅力を紹介するとともに、円滑な人材確保の支援と若者の地元定住を図る。</p> <p>【R4年度】</p> <p>・5/25 令和3年度コロナウイルス感染拡大のため中止となった、城山高校3年生を対象とした合同企業説明会を開催(市内参加企業3社:城山高校3年生26名)</p> <p>・2/8 城山高校2年生を対象に合同企業説明会を開催(市内参加企業5社:城山高校2年生27名)</p> <p>・高知県主催合同企業説明会の開催 (9/9開催、市内参加企業5社 会場参加 11名内、市内在住3名 ・オンライン面談4名)</p>									
	新規	拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)	
	6. ものづくり教育推進事業 【工場見学やものづくり体験 学習実施回数(回)】		目標値	-	1	1	1	1	1		令和5年度も同様の工場見学バスツアーを予定しているため、まずは見学企業の選定や時間配分等の検討を行う。 工場見学だけでなく、体験学習等をコースに組み込めるか等についても検討をしていく。 周知方法として、チラシだけでなく香南ケーブルテレビや関係団体等と連携し、より多くの方々に周知できるようにする。	
			実績値	-	-	-	1					
			達成(評価) (C)	-	-	-	A					
	【実施主体】香南市 【連携する分野】-		<p>次代を担う小中学生や高校生を対象に、工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施し、地元企業との接点を設けることで地元の仕事を知り、地元で暮らすイメージを強めてもらう。</p> <p>【R4年度】</p> <p>・小学生の夏休み期間中に、市内の小学4年生～6年生を対象として、市内企業3社の工場見学バスツアーを開催 (8/3開催、見学企業 3社、参加人数19名)</p>									

数値目標	年度	基準値 (R1年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成(達成度合)	備考
観光施設入込客数 (万人)	目標値	120	107	110	114	117	121	569		観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。 (暦年1-12月の合計) 【対象10施設】合計:1,022,932人 ①県立のいち動物公園 205,675人 ②月見山子どもの森 28,248人 ③ヤ・シィパーク 294,788人 ④絵金蔵5,980人 ⑤天然色市場 40,963人 ⑥やすらぎ市 202,837人 ⑦あぐりのさと16,124人 ⑧黒潮温泉 100,597人 ⑨創造広場「アクトランド」 59,750人 ⑩土佐カントリークラブ 67,970人
	実績値	104.5	90.7	96.2	102.2					
	達成(評価)	B (※11施設)	B	B	B					

※第1期(H27-R元)は備考欄10施設に加え、香南市サイクリングターミナルの宿泊以外の利用者数を計上。

■取り組みの内容について

【R4年度の総括】

観光分野は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの規模縮小や渡航制限によるインバウンド需要の減少の影響がまだ残っており、令和4年の観光施設入込客数の実績値が102.2万人(達成率89.6%)となったが、前年度比は106%となった。市内入込客数の回復のため「香南市いこいこキャンペーン」を4月29日から令和5年1月31日の期間で実施し、入込客数回復を図り、総利用者数は70,895人となった。また、「香南市レンタルわくわくクーポンキャンペーン」を5月1日から7月31日の期間で実施し、940人がクーポンを利用して周遊の促進につながった。スマートフォンユーザー向けに香南市観光協会ホームページ更新やイベントの周知方法などの工夫によりアクセス数の増加やSNSのフォロワーの増加につながり、香南市についての情報を多くの方に届けることができた。新たな観光拠点として井上ワイナリー株式会社のいち醸造所がグランドオープンし、目標を大きく上回る集客となった。インバウンド需要が回復してきている中で、日曜市や高知新港でのPRおよび外国人観光客受入研修の実施を行っており、今後も継続していく。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値								
	○具体的な取組	実績値								

◆情報発信手段の効果的な活用										
新規・拡大	継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1. 香南市のPR活動の強化 【イベント参加数 (日曜市+高知新港PR) 【実施回数(回)】	目標値	-	25	25	25	25	25	25	
実績値		-	8	18	27					
達成(評価) (C)		-	C	B	A					
【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会	【連携する分野】-		観光客や外国人の来訪が期待される日曜市と高知新港へのイベント出店による観光・特産物PRで香南市の認知度向上につなげる。 【日曜市】 15回/年 【高知新港】 10回/年 【R4年度】 【日曜市】 19回(4/24、5/15、6/26、7/10、7/17、7/31、8/7、8/21、8/28、9/11、10/2、10/9、10/30、11/20、12/11、12/25、1/8、1/29、3/26) 【高知新港】 8回(6/17、7/15、7/16、10/5、11/21、3/15、3/18、3/31) 日曜市に19回参加し、香南いこいこキャンペーンのPRや地域の物産を出店事業者と一緒にPRを実施。大型客船は9月に寄港予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止。3月末までは、香南市観光協会・物部川DMO協議会が8回の出店を行い、香南市のPRを実施。 (実績計上外イベント参加) 香南市観光協会:11イベント 高知大丸香南市フェア(5/21、5/22)、土佐塩の道30kmうおーく(5/28)、高知暮らしフェア2022夏・東京(6/19)、土佐赤岡絵金まつり(7/16、7/17)、マリンフェスティバルYASU(7/17)、かとり神社の夏祭り(8/20)、ご当地キャラまつりin須崎(9/10、9/11)、土佐塩の道トレイルランニングレース2022(10/2)、高知東海岸グルメまつり&鉄道の日(10/9)、みなこい港まつり(10/23)、香南市フェア2022in南の駅やえせ(10/30)、山北みかんこもれびマルシェ(11/3)、ふるさとまつり(11/11、11/12、11/13)、冬の夏祭り(12/3)、ヤ・シィンククロス(2/5)、旧正風揚げ大会(2/11)、JR高知駅 牧野博士関連のドラマ・博覧会PR等事業(2/23)、明治安田生命レディスヨコハマタイガゴルフトーナメント(3/9、3/10、3/11、3/12) 商工観光課:サイクルモード大阪(3/4、3/5) ▶メディア:テレビ取材情報提供・受入段取り・取次・出演など積極的に行う。 (TV:まっこと高知の実家メシ、ニコバスオンラインバスツアー@高知県内中心部飲食店紹介、テレビ朝日「食彩の王国」、山陽放送「いまだキック!」、RKC高知放送「こうちeye」、香南ケーブルテレビ、高知新聞) (ラジオ:市町村ガイド、エコエオアラカルト) ▶雑誌・新聞等:ミリカ・K+・ほっとこうち等継続して観光情報を提供・掲載へ。 その他、TKC出版「四季の花景色」、クロワッサン「花と緑のある暮らし」							

香南市観光の発信

戦略の柱	◆取り組みの柱									
	年度	基準値 (R10年度基準)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値								
○具体的な取組										
新規・拡大・ 継続	2. 香南市のPR活動の強化 【HPアクセス件数(件)】 (香南市観光協会HP + Guidoor(多言語観光サイト)の合計) Guidoorアクセス数:172 ※8/24に日本語完成。他8言語公開の令和9月22日～令和5年3月31日のアクセス数	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	目標値	-	125,000	128,750	132,600	136,600 ▷140,700	140,700 ▷145,000			イベント開催日やテレビでの放送等があるHPアクセス数が伸びるため、事前に情報収集を行い告知内容の掲載を行う。 花の情報やイベントについて、3月中旬から毎年アクセス数が伸びる傾向があるため、事前に掲載ページの充実を図る。 香南ニラプロジェクトの特集ページは、香南ニラ塩焼そばが食べられる店舗の紹介やゲーグルマップへの埋め込み表示を行い、ページの充実化を図る。 今後、観光需要の回復に備えて、地場産品販売促進部の香南まるごと旨市への誘導等も含め、香南市の魅力をより多くの方に伝えて、香南市への集客や、地場産品の購入に繋げるためのHP作りを行う。
	実績値	-	110,799	128,880	252,028					
	達成(評価) (C)	-	B	A	A					
【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】-	R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	コンテンツの充実を行うとともに、香南市全体の観光情報・イベント情報を更新および発信するとともに、観光情報を広く発信する。 【R4年度】 1位: 1,206訪問…(3/19): 香南市花めぐり(西川花公園・かがみ花フェスタチューリップまつり情報) 2位: 1,164訪問…(11/2): のいち動物公園開園記念前日・山北みかんマルシェ前日 3位: 851訪問…(3/25): 香南市花めぐり(西川花公園・かがみ花フェスタチューリップまつり情報) 毎月イベント情報を更新および発信するとともに、香南市へ何度も足を運んでもらえるように情報発信を行った。 香南いこいこキャンペーン、レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン、自転車のまち香南市、土佐塩の道トレイルランニングレース、香南はなめぐりの特集ページを作成し、内容を分かりやすく掲載した。								
新規・拡大・ 継続	3. SNSを活用した情報発信 【フォロワー数(人)】 (LINE+Instagram+Facebook) ※香南市観光協会の各SNSを対象	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	目標値	-	3,500	4,000	4,500	5,000 ▷5,600	5,500 ▷5,800			分かりやすい表示とクリックしやすくなる内容で広告費を効果的に活用できるように工夫する。また、クリックした先の特集ページを分かりやすく掲載する。 SNS発信では写真や編集、簡潔な記事を目指す。動画は、イントロに意識しながら最後まで見てもらえる工夫をし、引き続きタイムリーな投稿をしていく。 動画の見せ方、Instagramの整理等を行う。
	実績値	-	4,306	4,891	5,741					
	達成(評価) (C)	-	A	A	A					
【実施主体】 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】-	R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)	様々なツールを用いた情報発信を行い、香南市の観光情報・イベント情報をリアルタイムで発信する。 R2～: 閲覧数や「いいね」の数等傾向を分析・把握し、フォロワーのニーズに即した訴求力の高い情報を発信する。 【R4年度】 4/1から3/31まで ▼フォロワーは合計【5,741】 ・香南市観光協会 Facebook 1,091 / Instagram 1,900 / こーにゃんFB 560 / 土佐塩の道トレイルランニングレースFB 1,575 / マリンフェスティバルFB 52 / ライン(ターゲットリーチ) 563 ・Instagramのフォロワーを増やすため、プロフィール内容の工夫・見栄え・編集・ストーリー・リアル動画の工夫に取組んだ。再開されたイベント・香南市はなめぐりの情報もタイムリーに発信することで、フォロワーが468増えた。 ▼リーチは以下の通り。 ・香南市観光協会Facebook 39,117 / ・Instagram 149,591 ▼Instagram+Facebookの再生数が多かったもの 1位: 5,752再生: 3年ぶりの絵巻祭り開催・屏風絵展示 2位: 5,516再生: 観光列車お見送り・シャボン玉まみれ 3位: 4,491再生: 夫婦岩の風景 ▼広告 ①香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン: 目的ウェブサイトのクリックを増やす・2022年7月5日から7月13日の8日間、予算4,000円→リンククリック131、リーチ6,522、リアクション105…予算が少なく期間も短かったがウェブサイトへの誘導には繋がったと考える。 ②香南いこいこキャンペーン期間延長: 目的ウェブサイトのクリックを増やす・2022年12月8日から2023年1月15日の38日間、予算1日2,000円→リンククリック3,795、リーチ82,880、リアクション260、投稿の保存11、シェア1…キャンペーンの期間延長に伴い年末年始に来高するであろう方に向けて車でも移動できる、高知県と大阪市を中心とした80km圏内のエリアに発信した。								

香南市観光の発信

戦略の柱	◆取り組みの柱									各事業の根拠について
	年度	基準値 (R1R2年度基準)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)		
	事業名称	目標値						A/B/C		
	○具体的な取組									
	◆核となる観光拠点の形成									
	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1-1. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト 【道の駅やす入込(人)】	目標値	-	289,000	292,000	295,000	298,000	301,000		HPやSNSを活用し、情報発信を行う。 レンタサイクルについては、香南市わくわくクーポンキャンペーンへ参加し、誘客を図る。 ユニバーサルビーチの取り組みなどマリニアクティビティやピクニックサイトを活用した観光拠点化を促進する。
		実績値	-	268,617	256,235	293,446				
		達成(評価) (C)	-	B	B	B				
	【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市	◆ヤ・シィパークの整備に向けた協議及び合意形成、整備の実施 ・活性化協議会を通じた整備方針の検討及び意見反映、適切な維持管理の実施、観光拠点化に向けた運営体制の確立 【実施主体:株式会社ヤ・シィ】 ・商業施設部分の振興やアクティビティについて、活性化協議会を通じた整備方針の検討 【実施主体:香南市】 ・活性化協議会を通じた整備方針の策定及び整備の検討、ヤ・シィパークの観光拠点化に向けた関係者間の合意形成、維持管理の継続実施 【実施主体:高知県】								
	【連携する分野】	【R4年度】 ○整備方針 ・三者協議の開催(5/19、7/13) ・活性化推進協議会の開催(7/21、3/27) ・ヤ・シィパークインクルーシブ設計開始(R4~R5予定) ・ピクニックサイトの屋根整備(済) ・地域情報センター、やすらぎ市等の塗装(済) ○観光拠点化 ・レンタサイクル事業4月から開始 ・香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンの実施(5~7月) ・結婚式を受注(5/14) ・マリニフェスティバルYASU(7/17) ・木工教室(7/31:月見山こどもの森) ・手結盆踊り(8/15) ・昆虫展(10/1、10/2) ・バランスボールイベント(体カメンテナンス協会) ・ユニバーサルビーチの開催(7/17、8/13) ※予定していた8/28は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 ・高知県「道の駅」スタンプラリー2022 (4/23~10/31) ・四国「道の駅」スタンプラリー2022 (4/1~3/31) ・四国銀行清掃活動 (4/16:四国銀行) ・カナリヤン枝打ち(アダプト) (6/8:四国電力) ・花壇花植え (6/25:夜須町街づくり協議会) ・ビーチバレー大会(一般の部) (6/19) ・ビーチバレー大会(高校生の部) (6/26) ・土佐よさこいソーディウオーク大会 (7/3) ・ピンクリボン運動協賛ライトアップ (10/1~10/2) ・清掃・草刈り(アダプト) (10/29:高知銀行) ・清掃活動 除草(アダプト) (10/31:ライオンズクラブ) ・防災ライトアート・トークイベント (11/3~11/6) ・カンオワールドオープンゴルフ (11/24~11/27) ・海辺のイルミネーション (12/1~12/30) ・第20回ヤ・シィ海辺のマラソン大会 (12/4) ・花火打ち上げ(成人式セレモニー) (1/4) ・香南市スポーツ少年団交流駅伝大会 (2/4) ・高知県シクロクロス ヤシィシクロクロスカップ (2/5) ・雛飾り展示 (2/4~3/31) ・明治安田生命レディース横浜タイヤゴルフトーナメント (3/9~3/12) ・香南市花めぐりバスツアー (3/18・19・21・25・26) ・昆虫展 (3/21)								
観光の育成に向けた取り組み		R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (R10年度基準)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組	実績値								
観光の育成に向けた取り組み	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	1-2. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト(mana * mana)【売上高(千円)】	目標値	52,578	54,611	55,030	55,448	55,867	56,285		人員不足解消のため、店舗張り紙やハローワーク等へ求人募集を引き続き行う。また、カフェ人員の確保と、業務体系等の見直しも行っていく。情報発信や作業効率化については、SNSの使い方等のPR体制について見直しをし、集客アップに繋げる。商談会への出店および個別商談により販路を拡大する。
		実績値	26,868	18,171	22,372	21,680				
		達成(評価) (C)	C	C	C	C				
【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市	【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.11 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進	<p>◆売上アップに向けた取り組みの強化</p> <p>・内部の体制強化 店舗の運営体制の強化、新商品の開発、アイスバーの生産体制の強化、ミーティングの実施 [実施主体:株式会社ヤ・シィ]</p> <p>・店舗の周知: イベントへの出店・出品、自主イベントの開催、情報発信 [実施主体:株式会社ヤ・シィ]</p> <p>・外販の強化: 商談会への参加、外商活動の強化 [実施主体:株式会社ヤ・シィ]</p> <p>・販売機会の増加のための「れんけいこうち」事業等の情報提供、店舗の運営の状況把握 [実施主体:香南市]</p> <p>・新商品開発や店舗の経営改善のための産振アドバイザー制度の活用等の提案、商談会やコンテスト等の情報提供研修会の案内、販路開拓等の事業者の課題解決のための関係部署からの情報収集と伝達</p> <p>【R4年度】 内部の体制強化について ・ニラ塩焼きそば、しいらん棒、ニラ塩焼きそばドック、ニラマヒドック、シャケ弁ミニを開発 ・月1の社内ミーティングを実施 ・カフェスタッフ2名、アイス製造スタッフ2名(前年より1名減員) 店舗の周知について ○イベント出店 ・ウェディング一次会・二次会の受注(5月) ・井上ワイナリー様に出店(6月) ・マリンフェスティバルに出店(7/17) ヤシィの秋祭りに出店(11/20) ・明治安田生命レディスヨコハマタイヤゴルフーナメントへ出品(3月・観光協会が販売) ○情報発信 ・BS11「私たち鉄印帳はじめます」の土佐くろしお鉄道スペシャルでアイスバーについて放送(5/31) ・香南ケーブルテレビのニラ特集でニラ塩焼きそばについて放送(2月~3月) ・テレビ朝日「食彩の王国」ニラマヒバーガーの取材あり(関東では3月に放送) ・大和ハウス「okaeri」vol.35 Autumn-Winterへアイスバーの掲載 ・サニーマート東部観光のチラシヘアイスバーの掲載 外販の強化について ○商談会への参加 高知県産品商談会(10/26) ○新規成約 ・ベネッセ(岡山県)・ライオンキッチン(京都府)・南商事(高知県)</p>								

戦略の柱	◆取り組みの柱									
	年度	基準値 (R10年度基準)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
戦略の柱	事業名称	目標値								
	○具体的な取組	実績値								
観光の育成に向けた取り組み	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
	2. 三宝山エリア活性化促進プロジェクト [地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業][千円]	目標値	-	醸造所建設	醸造開始	37,132	59,122	75,246		県産ブドウおよび県産カンキツを使用した『新商品開発』を行い商品拡充を図る。 また、市内の他事業者と連携し、定期的なイベントの開催を目指す。 耕作面積の拡大は現人員数では行えないことから、県内の企業や集落活動センターなどと連携して契約栽培を広げる。
	※R4年度以降の数値目標は県アクションプランと足並みを揃え、ワイン及びグロサリー商品の売上高とする。 R6年度については次期県アクションプラン記載分と調整を図る。	実績値	-	醸造所完成	醸造開始	71,735				
		達成(評価) (C)	-	A	A	A				
【実施主体】 井上ワイナリー株式会社 井上石灰工業株式会社 高知県 香南市		<p>◆栽培面積の拡大 R2～R6：圃場の確保・収量の拡大 ・耕作放棄地の活用、県内各地の行政や老人クラブとの連携、自社圃場の拡大 [実施主体：井上石灰工業(株)]</p> <p>◆醸造・生産体制の確立 R2～R3：醸造施設の建設、醸造免許の取得、醸造準備 R3～R6：醸造施設の安定的な運用、人材の育成 [実施主体：井上ワイナリー(株)]</p> <p>◆ブランドの確立 R2～R6：高知県産ワインとしての認知度向上と個人顧客の獲得 ・空港等での広告、PRイベントの実施、新酒発表会の開催 / ・ふるさと納税商品への採用 [実施主体：井上ワイナリー(株)]</p> <p>◆他事業者との連携 R2～R6：グロサリー商品の開発と販路拡大 ・地元食材を取り扱う事業者と連携した、様々なグロサリー商品の開発及び販売 [実施主体：井上ワイナリー(株)] ※三宝山一体の再開発推進として高知県と一体となり本事業を支援。[香南市]</p> <p>【R4年度】 4/29 グランドオープンし、年間延べ5万人を越える来客。 ○栽培面積の拡大・醸造、生産体制の確立 高知県産ブドウのワインの早々に売り切れたため、他県産ブドウのワインを前倒しで販売。 また、山北みかん果汁の調達が増加できたため2度増産し、県内、首都圏の小売店に出荷することができた。 8/8から始まった収穫では成園化が進み、前年の約2倍となる18tの収穫量となり5年度の県産ワインの増産ができた。 契約栽培は新たに、大月町(民間企業)、土佐町(集落活動センター)で35aの面積拡大が決定し、早ければ6年度中に醸造開始となる。 3/16には、日本ワインを紹介するメディアから、直近10年で開業したワイナリーの中から「新進気鋭賞」を授与いただいた。 ○ブランドの確立 ・乙女の涙の店頭販売(5/29)、香南市健康サイクリング受入(6/5)、クラシックギターコンサート(6/18、6/19)、銀座まるごと高知にてワイン会(7/4)、高知商業高等学校ジビエ部とイベント開催(7/10)、アコーディオンコンサート(8/7)、収穫体験会(9/1)、土佐ワインヌーボー解禁(10/3)、椿原町豊稔祭(10/15)、土佐ワインイベント得月楼(10/29)、ネストウエストガーデン土佐ワイン会(11/11)、レクサス新車展示会(12/3・4)、高知大丸農とアートのバレンタイン(2/8～14) ○他事業者との連携 株式会社浜幸とバレンタインチョコレート企画、佐川町のっぱら工房と香南市産レーズン入りパン企画。</p> <p>協働の森事業では、協働事業を実施することが出来ず、自社管理のみとなった。</p>								
【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.9 高知県産ワインの生産拡大 及び ブランド化の推進		<p>R4年度の具体的な事業内容 (P)(D)</p>								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (R10年度基準)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組	実績値								

◆ 広域観光の推進

新規・拡大	継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)
1. 物部川エリア観光連携事業 【対象9施設入込客数(人)】※年度		目標値	711,000	777,000	815,000	855,750	898,600	944,000		① 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 DMO組織体制の強化に向けた会員組織の拡充に努める。 ② 観光商品の充実 子育てファミリーに特化したサイクルツーリズムを計画する。 ③ 観光客の広域誘致 ・県のサステナブルな観光商品造成事業やクルーズ船OPツアーの作成提案。 ・ワーケーションの実施。 ・高知まんなか移住ツアーの実施。 ④ 地域連携による周遊促進 ・JR観光列車でのおもてなしとPRの実施。 ・ものべがわフェスタ開催。 ・3市サイクリングの協力。 ⑤ 物部川地域の観光に携わる人材の育成 ・教育旅行は平和学習の場として「食」や「防災」とも結び付け、宿泊までつなげられる総合提案ができる形作りを行う。
・香南市 高知県立のいち動物公園 211,998人 創造広場「アクトランド」64,927人 絵金蔵 6,633人 ・香美市 香美市立やなせたかし記念館 140,969人 龍河洞 118,367人 べふ峡温泉 12,124人 ザ・シックスダイヤリーかほくホテルアンドリゾート 8,327人 ・南国市 西島園芸団地 132,590人 高知県立歴史民俗資料館 27,764人		実績値	707,185	460,082	578,536	723,699				
		達成(評価) (C)	B	C	B	B				
【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 高知県 (一社)香南市観光協会 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.18 物部川地域における広域観光の推進		◆ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 R2～R3: 物部川DMO協議会の組織体制の強化: 日本版DMO登録に向けた取組の推進及び登録、マーケティング機能強化 R3～R6: 物部川広域観光振興中期計画の更新及び集客戦略の立案・実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] R3～R6: 地域内での連携体制の整備・運営 ・物部川流域圏内の観光地域づくりを行うため、市や観光協会を窓口とした連携体制の整備及び運用 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会、(一社)香南市観光協会、香南市] ◆ 観光商品の充実 R2～R6: 観光商品の充実 ・関係団体や事業者、大学等との連携による新たな観光資源(体験メニュー等)の発掘・磨き上げや土佐の観光創生塾等を通じた商品づくりへの支援 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会、(一社)香南市観光協会] ・旅行商品の企画造成 ・物部川流域圏内での周遊ツアー、地域イベントを組み込んだツアー商品等、旅行業を活用した旅行商品の企画造成 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ◆ 観光客の広域誘致 R2～R6: 戦略的なセールス・PR ・ターゲット層及びエリアに即した旅行エージェントセールスの実施 ・ターゲット層への訴求力のある媒体を活用したエリア情報発信の実施・広域観光パンフレットやHP、SNS等を活用したエリア情報発信の実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ◆ 地域連携による周遊促進 R2～R6: 連携企画等の実施 ・圏域一体での観光地域づくりの意識醸成と圏域内への周遊促進を図るため、地域内の関係者連携による企画等を実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ◆ 物部川地域の観光に携わる人材の育成 R2～R6: 連携企画等の実施 ・広域観光推進のための知見の拡大・共有を目的とし、先進地視察や圏域内の観光情報の共有のためのエリア内研修の実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ・県等が実施する研修の情報提供 [実施主体: 高知県]								
		[次ページへ]								

観光の育成に向けた取り組み

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (R1/R2年度)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値								A/B/C	
		〇具体的な取組	実績値								
観光の育成に向けた取り組み	1. 物部川エリア観光連携事業 【対象9施設入込客数(人)】										

R4年度
の具体的な
事業内容
(P)(D)

【R4年度】

① 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化
 ○ものべがわエリアでの観光の受け入れ強化、DMO協議会の組織形態を磐石なものとするため、新規会員の加入を推進
 ○ものべSSS認証は、新たに14施設が参画し、合計28施設となった。
 ○わくわくゾーンスタンブラリー事務局(R5年度より1施設加入)

② 観光商品の充実
 ○ものべおしごと体験博の開始(6月FDA,12月JAL,3月四国銀行)
 ○ユニバーサルビーチの開催(7月17日、8月13日)
 ○ヴィーガン、ベジタリアンを受け入れられる観光施設の充実化(観光庁採択事業)
 ○ワーケーションの造成(観光庁採択事業)
 ○奥物部の柚子狩り&ゆのす絞り体験をブラッシュアップ、高知新聞旅行社に継続販売。
 ○教育旅行商談会…平和学習案、防災教育プランを企画提案(R4/教育旅行担当教員、旅行会社を招聘、R5,R6に予約有)

③ 観光客の広域誘致
 ○観光案内と動態調査(4月29、30日のいち動物公園・7月16,17日絵金祭り、マリンフェス)/アンケート70名、観光案内約300名・10月15、16日刃物まつり・11月19日長宗我部フェス・11月20日ヤ・シの秋祭り・11月24、26日カシオワールドオープン)
 ○ものべKIDSカード発行(R4年ものべがわフェスタより開始)
 ○「ツーリズムEXPOジャパン2022」旅行会社との商談、一般来場者へのエリアPR
 ○空家フェスタ出店(6月4日大阪国際空港)
 ○クルーズ船物産販売(6/17,7/15,7/16,10/5,11/21,3/15,3/18,3/31)
 ○修学旅行アテンド(5/20県内中学校、11/8岡山県支援学校)
 ○障がい者支援NPOアテンド(9/10,11)
 ○ワーケーションの受入れ(3月2,3日/4名)
 ○オプションツアーアテンド(3/15、3/23高松空港より入国した台湾観光客)
 ○岡山県産業観光ツアー(3/28)
 ○旅行会社視察アテンド(教育旅行8/3,8/20,8/23、クルーズ船、団体7/22)
 ○高知県観光商談会参加
 ・インバウンド(11/2)
 ・クルーズ船(11/8)
 ・教育旅行/スポーツ合宿(4/21,22大阪,6/15,16広島,1/26,27岡山、広島)
 ・団体(高知県内招聘7/8,7/28,8/25,9/14大阪)
 ・観光調査委託事業商談会(1/26)
 ・香川、高知連携台湾観光商談会(2/21,22)
 ○個別営業
 ・高知県内(7/15,16)
 ・四国(3/28,29)
 ○パンフレットやHP,SNS等を活用したエリア情報発信の実施(SNS新規登録者数約500名)
 ○WAOマップ作製
 ○教育旅行のプログラム作成…高知県SDGsプログラムガイドブックへ参画

④ 地域連携による周遊促進
 ○観光地域づくり塾を通じた効果的なSNS発信による周遊促進。
 ○「ものべがわフェスタ」(11/13)
 ○わくわくゾーンスタンブラリー事務局(1施設追加)
 ○JR観光列車エリア内連絡調整とおもてなし(4-6月、10-12月)
 ○高知まんなか移住ツアー請け負い(参加者、旅程管理)
 ○JR四国15周年×高知県観光博覧会 観光PR(2/23-26,3市観光協会とDMOで4日間観光PR)
 ○高知県観光博覧会オープニングイベント観光PR(3/25,26)

⑤ 物部川地域の観光に携わる人材の育成
 ○平和教育受入れ現地視察研修(7月20、21日大分県)
 ○インバウンド対応セミナーの開催→◆おもてなしの向上「外国人観光客受入れ研修の実施」に記載
 ○向島ユニバーサルパーク視察研修
 ○観光庁採択事業ワーケーション先進地視察 1月16-18日福岡県うきは市、1月23-25日石川県七尾市
 ○障がい者スポーツ指導員初級資格取得 2名
 ○香美市観光ガイドの会(主催:香美市観光協会)

【香南市観光協会】
 ○志国土佐時代の夜明けのものがたり観光おもてなし列車の取組(おもてなしのお手振り等)を物部川DMO協議会と共に実施。
 ○こうなんユニバーサルプロジェクト(NPO法人YASU海の駅クラブより)に参加。
 ○JR四国ステーション開発(株)高知支店×高知牧野博士関連のドラマ・博覧会PR事業へ出店。南国市、香美市、物部川DMOと連携して物販、観光PRを行った。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (R10年度度案)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値								A/B/C		
観光の育成に向けた取り組み	◆スポーツツーリズムの推進											
	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	1. サイクルイベントの開催 【サイクルイベント参加者数(人)】 ※サイクリング専門部会の目標値の積算に誤りがあったことから、R3年度より記載の目標値に変更。 R3: 720 ▷ 780 / R4: 840 ▷ 850 R5: 960 ▷ 920 / R6: 1,130 ▷ 1,040 R6年度末累計: 4,150人 ▷ 4,170人	目標値	-	580	780	850	920	1,040		健康サイクリングは、課題(新規参加者の減少等)に対し企画内容を見直し、参加者に楽しんでもらえるイベントにする。3市サイクリング試走会を活かし、3市ロングライドを実施する。 【香南市自転車活用推進計画KPI】 市内サイクルイベントの総参加者数(人) R3年度: 780人 / R4年度: 850人 / R5年度: 920人 R6年度: 1,040人 / R7年度: 1,160人 ※対象イベントに限らず、香南市内で開催される自転車関連イベントの参加者数を拾い、定番化できるイベントはKPIの数値に反映していく。		
【実施主体】(自転車) (一社)香南市観光協会 (一社)物部川DMO協議会 高知県シクロクロス実行委員会 土佐くろしお鉄道 香美市 南国市 香南市 【連携する分野】 香南市自転車活用推進計画 県 物部川アクションプラン NO.21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	実績値	-	106	135	204				R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、出店や市内飲食店等の収益増につながる大会として開催。 ◆高知シクロクロスヤシシクロクロスカップの開催 ◆ツールド・香南トレインの催行 ◆三市ロングライドの実現(広域サイクリングルートの整備) 【実施主体: 高知県シクロクロス実行委員会、土佐くろしお鉄道、香美市、南国市、香南市】 ※R4年から対象イベントに限らず、香南市内で開催される自転車関連イベントの参加者数を拾い、定番化できるイベントはKPI数値に反映していく。 【R4年度】 物部川エリア3市サイクリング試走会を開催し検討会を行った。 また、毎月第1日曜日に健康サイクリングを開催した。 ・健康サイクリング 4/17 (7人)、5/1 (5人)、6/5 (14人)、7/3(雨天中止) 8/7(6名)、9/4(中止)、10/2(12人)、11/6(8人)、12/11(3人)、1/8(8人)、2/5(8人)、3/12(8人) ・11/13 ものべがわフェスタ 自転車体験イベント 雨天中止 ・11/23 ふれあい祭りタンデム自転車サイクリング試走会 雨天中止 ・1/29 タンデム自転車講習会(6人) ・2/5 ヤ・シシクロクロスカップ・キックバイクイベント(119人) ・3/21 キックバイクイベント 雨天中止			
観光の育成に向けた取り組み	新規・拡大・ 継続	年度		R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	2. 塩の道を活用したイベントの開催 【塩の道を活用したイベント参加者数(人)】 ① トレイルランニングレース ② 30kmうおーく	目標値	500	440	450	460	470	470		①土佐塩の道トレイルランニングレース 夜須町羽尾につながる塩の道を活用して香南市の資源を活かしたレースを開催できるように取り組む。 ②土佐塩の道30kmうおーく 令和4年度に指摘のあった道案内の標識が分かりづらい箇所の改善を行い、4/22に開催する。		
	【実施主体】 (一社)香南市観光協会 土佐塩の道保存会 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.23 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	実績値	595	182	97	346				R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 塩の道を活用したイベントを開催し、塩の道の次世代への継承と観光客増加をはかる。 R2.10月: 塩の道トレイルランニングレース開催【実施主体: (一社)香南市観光協会】 ※ 前日イベントの開催(講師を招いての講習会・交流会等を実施) ※ ITAR(国際トレイルランニング協会)への登録 R3.3月: 30kmうおーく開催【実施主体: 土佐塩の道保存会】 R2: トレラン 182名、30kmうおーく: 新型コロナウイルス感染症の影響により翌年度に延期(R3.3月開催 ▷ R3.5月へ) R3: トレラン 新型コロナウイルス感染症の影響により中止、30kmうおーく: 97人 【R4年度】 ① 土佐塩の道トレイルランニングレース2022 10/21に開催。264名のエントリーがあり当日は233名が出走、完走者は211名で完走率が91%であった。四国237人、中国13人、近畿4人、中部1人、関東9人。 ② 土佐塩の道30kmうおーく 5/28に開催。参加者数113名。県外からも5名の参加があった。		
新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)			
3. マリンスポーツの推進 【大会参加者数 + マリン体験の参加者数(人)】	目標値	-	230	240	240	260	270		終息をしない新型コロナウイルスが第5類となる事により集客が戻って来ると予想される。 まずは職員を増やす事を先決とし、会員をスタッフとして機能させる事で、安全面にも配慮をした体験活動を充足させた体制を築き上げる。その為にも会員もポイント制に移行しモチベーションを高めさせる。			
【実施主体】 NPO法人YASU海の駅クラブ 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	実績値	-	174	185	247				R4年度の具体的な事業内容 (P)(D) 香南市マリンスポーツ施設やヤ・シバークを活用した大会を開催するとともに、来訪者が手軽にマリンスポーツを満喫できるようマリン体験(SUP、ディンギーヨット等)を実施し、マリンスポーツの推進をはかる。 ・香南市マリンスポーツ施設やヤ・シバークを活用したマリンスポーツ大会の開催 R4.10月 ヤ・シバークマリン in Kochi(カヤック大会) ・香南市マリンスポーツ施設・ヤ・シバーク等関係施設と関係団体の連携による沿岸域を利用したスポーツツーリズムの体験メニュー構築 【実施主体: NPO法人YASU海の駅クラブ】 【連携団体: 株式会社ヤ・シバ(一社)香南市観光協会・(一社)物部川DMO協議会】 【R4年度】 当初の予定通りにコロナ禍の中で感染リスクに備えてマリンスポーツの推進を行った。 終息しない新型コロナウイルス感染症の感染拡大で想定では前年と同様の利用推移と思われていたが、利用者増となった。 利用側も本格的に感染が広まった夏場以外は、閉塞感を打ち破って体験をしたいという頭れが見られ利用増に繋がったと思われる。 【利用者20人以上を列記】6/21・6/22: 高知商業高校(各37人) // 7/13: 両備ツアーズ(25人) // 9/25: 高松こども会(21人) その他利用者: 113人 ※会員外数値 【行った大会】10/23 第17回 ヤ・シバークマリン in Kochi(14人)			

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (R10年度基準)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値								A/B/C		
受入体制の強化	◆おもてなしの向上											
	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R4年度の取り組み内容】(A)		
	1. 香南市案内人会の拡充 【案内人会会員数(人)】 会員数:21人(1人減)	目標値	26 (延べ)	26 (延べ)	28 (延べ)	30 (延べ)	32 (延べ)	34 (延べ)		・旧5町村において案内ルートの確立も出来なかった為、引き続き各旧市町村のガイドができるルートの確立を行う。 ・会員の高齢化や仕事の都合で退会者の人数が増えてきているため新規の会員増に向けた取り組みをおこなっていくとともにガイド技術の向上に向けた勉強会や研修を開催していく。		
		実績値	23	24	22	21						
	達成(評価) (C)	B	B	B	B							
	【実施主体】 香南市案内人会 【連携する分野】-		会員増に向けた勧誘や広報に取り組み、ガイド受入可能な体制の強化を図っていくとともに、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催する。 ・他団体との連携を強化したガイドの実施 / ・高知県観光ガイド連絡協議会HPを活用した情報発信 ・OTA(Online Travel Agent)への登録 【R4年度】 本年度も新型コロナウイルス感染症の影響で積極的に活動を行うことが出来なかったが各依頼先のガイドや案内は行うことが出来た。 ・香南市いこいこキャンペーン事業に参加した。事業参加期間中はガイドを2回実施し、16の方が利用した。香南市いこいこキャンペーン事業終了後にガイドを1回実施し、37の方を案内した。 ・NHKワールドの取材に同行した。 ・高知県自然・体験型観光アドバイザー派遣の研修に1人参加。 ・香南市周遊花めぐり事業で47回バス内でのガイドを務めた。延べ49人が出勤。									
受入体制の強化	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	2. 外国人観光客受入研修の実施 【参加事業者数】 ※ R6年度末累計 50事業者	目標値	5	10	10	10	10	10		受講事業者は、施設内で受入研修の情報共有を行い、外国人対応のできるスタッフを増やしていく。英語中級のほか、中国語の初級研修も開催し、高知県が重点ターゲットとする台湾、香港からの来訪に対応できる研修を行う。		
		実績値	3	-	15	24						
		達成(評価) (C)	B	-	A	A						
	【実施主体】 香南市 【連携する分野】-		観光関係事業者向けインバウンド研修を開催し、文化やマナー、接客英語の習得を促し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上へ繋げる。 【開催時期】(講師:民間企業を予定) R2~:全体セミナー / 個別セミナー R2:新型コロナウイルス感染症の影響により中止 R3:15社 31名参加 (R4.2月 国内・外国人観光客おもてなしセミナー) 【R4年度】 観光庁「環境に配慮した持続可能な周遊観光促進事業」の公募に申請し、採択をうける。 地域の魅力発信や周遊の促進に向けた研修として英語初級、中級、中国語の実践的な研修と、アプリを用いた翻訳を活用する研修を実施。 初級と中級、それぞれ12社16名、12社17名が参加。(延べ24社、重複を除くと15社)									
受入体制の強化	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R5年度の取り組み内容】(A)		
	3. アンケート調査の実施 (観光地点パラメータ調査)	目標値	-	調査	調査	調査	-	-		県外客のウエイトが高まり、消費額質問等のアンケート回答の有効性が高まると思われることから、道の駅のみでなく、宿泊施設にも調査協力を要請していく。調査結果を共有し、施策策定に活用する。		
		実績値	-	実施	実施	実施						
		達成(評価) (C)	-	A	A	A						
	【実施主体】 香南市 (一社)物部川DMO協議会 【連携する分野】-		香南市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光客の属性・消費傾向等を把握する。 また、効果的な観光施策を展開していくための基礎資料とし、調査結果を個々の取り組みに反映する。 ○調査地点: R元年の入込客数が1万人以上・もしくはR元年の特定月の入込客数が5千人以上である観光施設(日常利用・通過型の利用が大半を占めると考えられる地点は対象外) 従業者数10人以上の宿泊施設から抽出 ○調査事項: 観光入込客の居住地、性別、年齢、日帰り・宿泊別、宿泊施設、旅行目的、同行者数、市内訪問観光地点名、市内観光消費額単価等 ○調査周期: 四半期毎(1~3月、4~6月、7~9月、10~12月) ○実施時期: 四半期に含まれる休日1日で、当該四半期の観光入込客の平均的な訪問地点数、観光消費額単価が把握可能と考えられる日。 ※ 当調査により「市内観光消費額」を算出し、第2期計画の途中から、数値目標として示していきたい。 【R4年度】 R4:4月~3月 1,208件実施(回答率20.2%) 物部川エリア3市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施。 観光客の属性、消費動向把握を昨年度より継続中。 調査結果と毎月収集しているKPI、高知県が令和4年度に新たに導入した「デジタルデータ」を活用し、エリア内の観光事業者(KPI収集に協力をいただいている事業者)に情報提供するとともに、時期計画の指標として活用。									